

## さっぽろ建設産業活性化推進協議会について

### 1 さっぽろ建設産業活性化プランについて

企業が人材確保の取組を一層強化するとともに、行政は支援や制度面での環境整備を行い、建設業界と市が課題や目標を共有し、両輪となって取組を進めていく指針として「さっぽろ建設産業活性化プラン（以下「プラン」という。）」を令和2年5月28日に策定したところ。

計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間。

### 2 プランの推進の考え方

#### (1) 業界団体と札幌市の役割

プランの推進にあたっては、「業界団体」・「企業」・「市」がそれぞれ連携しながら進めていくこととし、「業界団体」については、自らが主体となって行う取組に加え「企業」の取組を促していく役割も担い、「市」については、「業界団体」や「企業」、関係機関と調整を図っていくこととする。

#### (2) プランの推進体制

また、プラン第5章に掲げる各施策について、担い手不足等の状況や建設産業を取り巻く情勢などを的確に捉え、建設業界と札幌市が連携して効果的な取組を推進していくため、令和2年8月に「さっぽろ建設産業活性化推進協議会」（以下「協議会」という。）を設置し、定期的に意見交換等を行う推進体制を確保したところ。

### 3 プランの進行管理について

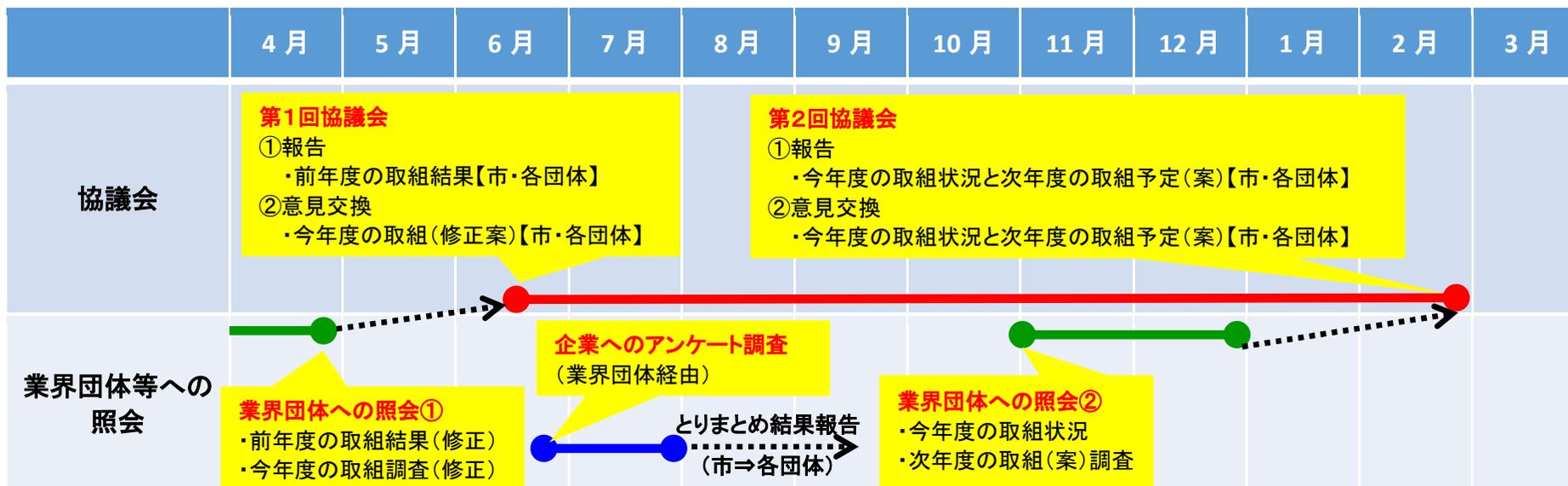
上記の協議会により、それぞれの取組の実施状況の把握や、建設業界と市が一体的に実施する取組等について意見交換し、PDCAサイクルの考え方に基づき継続的な進行管理を行っていくことで、効果的な取組の実施につなげていく。

#### 4 今後の協議会等の進め方

##### ●令和2年度



##### ●令和3年度以降



## 本日の意見交換の進め方について

### (1) 中高生向け建設産業PRパンフレット修正素案について

#### 1) 事務局より資料の説明 14:15～14:25 (10分間)

資料3-1に基づき、「建設産業の対象別PR内容」について説明します。

- ・前回(R2.8.27)の協議会において頂いたご意見を受け、改めて作成した資料であり、ターゲットに応じたPRのポイントや方法を整理した物になります。
- ・この中で、今回のパンフレットの対象範囲について説明させていただきます。

資料3-2に基づき、「中高生向け建設産業PRパンフレットのコンセプト」について説明します。

- ・内容は、「目的」「留意点」「使用シーン」「形状・仕様」「構成案」です。
- ・また、参考資料として添付しております「インフラ整備・管理の高度化とDXの推進」について説明します。
- ・これは、現在、国の主導で進められているデジタル化の動きについて簡単に整理した物になります。

資料-4に基づき、「建設産業PRパンフレットの修正素案」について説明します。

#### 2) 意見交換① 14:25～14:45 (20分間)

目的：資料3-2の「コンセプト」の視点で意見交換を行い、PRパンフレットの素案について決定する。

### (2) 令和2年度取組状況と令和3年度取組予定(案)について

#### 1) 事務局より資料の説明 14:45～15:05 (20分間)

資料-5に基づき、「札幌市の取組(案)」について説明します。

- ・さっぽろ建設産業活性化プランの第5章に掲げている31の施策について、各業界団体及び企業と札幌市の今年度の取組状況と来年度の取組予定について記載しています。
- ・なお、各業界団体及び企業の取組については、予め照会しておりました結果を資料-6にまとめており、その内容を総括した「現状」と「今後の方向性」について説明します。

#### 2) 業界団体より取組内容の説明 15:05～15:20 (15分間)

資料-6にある業界団体の取組の内、他の業界団体などが今後の取組を検討する上で参考となりそうな優良事例などについて数点、各業界団体から説明して頂きます。

## 【業界団体の取組紹介】

3-1-1 働き方改革や就業環境の整備、人材育成の推進

- ・若手新人研修会（（一社）北海道造園緑化建設業協会）

3-1-2 学生等の入職促進等に向けたインターンシップ等の取組の推進

- ・札幌工業高校電気科の生徒と保護者を対象とした業界説明会（札幌電気工事業協同組合青年部）

3-5-1 若者・女性の活動との連携や横のつながりを創出する機会確保等の支援

- ・若手の会による活動（（一社）建設コンサルタンツ協会北海道支部）

## 【情報提供】

- ・令和三年度 航空レーザ測量による高精度標高データ整備業務（甘美絵地区）  
（北海航測㈱ 矢橋社長）

## 3) 意見交換② 15:20～15:50 (30分間)

目的：資料-5 及び資料-6 の「令和2年度の取組状況と令和3年度の取組予定(案)」  
について、意見を交換し、令和3年度の取組を再検討する上での参考とする。

※後日（3/中依頼～4/下々切を予定）、各業界団体へ「令和2年度の取組状況（確定版）」と、「本日の意見交換を参考とし検討した令和3年度の取組」についての照会を実施し、今回の資料-6の修正を行い、令和3年度第1回推進協議会の場で情報を共有する。

## (3) その他 15:50～15:55 (5分間)

- ・その他、プランに掲げる施策に関することや本日の会議の全体を通して、他の業界団体や市に対しての質問・意見など。



## 札電協青年部など

### 参加希望 定員3倍に

高校生  
親子向け 業界説明会が好評

電気工事業の若手が取り  
組む高校生向けの親子説明

懇談で業界や仕事への理解度を高めた

会が好評だ。5日に札幌電  
気工業協同組合青年部と  
札幌工高が開いた業界説明  
会は、参加希望者が定員の  
3倍となり、選抜が必要に  
なったほど。メーカーや大  
手指向といわれている進路  
だが、関係者は地場企業が  
選抜肢として定着したこと  
を喜び、生徒が地域で活躍  
することを期待している。

電気工事士の高齢化や少  
子化に伴う将来的な不足が  
見込まれる中、同協組青年  
部は「進路決定に保護者の  
影響力は大きい」（安藤慎也  
部長）と考へ、4年前から

電気科生徒や保護者を対象  
に業界説明会を開催。生徒、  
保護者の双方に魅力や仕事  
のイメージが伝わるよう心  
掛け、地域の生活や産業を  
支える中小企業の良さをア  
ピールしている。

5日に開いた札幌工高の  
説明会は、昨年続き2回  
目。生徒と保護者が26社の  
青年部員とテーブルを囲  
み、仕事の進め方や給料、  
資格の必要性、待遇などで  
活発に懇談した。

前回の内容が生徒や保護  
者に口コミで広まり、学科  
の生徒ほとんどの240人  
が参加を希望する人気ぶ  
り。学校で進路希望を精査  
し、80人に絞り込んだ。小  
野博道副校長は「生徒が地  
場企業に定着することが大  
切。親子で理解が進む説明

会は効果が高い」と歓迎す  
る。

懇談後、2年生の松本大  
河さんは「当たり前前に電気  
が使えるよう工事で支えた  
い」と話し、同じく2年生  
の松田賢篤さんは「大きい  
ビルの配線図を描き、自分  
が造ったと言えれば」と入  
職への思いを強くした。

先駆的な活動に道内他の  
青年部の見学も多いとい  
う。全国団体の全日本電気  
工業業工業組合連合会を通  
じ、ノウハウ提供を求めら  
れるなど注目されている。

人材確保は企業の大きな  
課題。安藤部長は「反響が  
高まり期待や責任が大き  
くなった。引き続きニーズを  
捉え、地元貢献する人材  
の確保につなげたい」と話  
している。

令和3年(2021年)2月26日 北海道通信

### アマビエ点描で疫病退散

北海航測の矢橋社長が展覧

札幌市内で3月23日まで作品展

北海航測(札幌)の矢橋潤一郎社長が、札幌市内のカフェエスキスで25日から開かれている「アマビエ作品展」に出展している。航空レーザにちなんだ点群データで疫病退散に効くというアマビエを描き、新型コロナウイルス感染流行の

鎮静化を願った。

同展は、札幌市内15人のアーティストによるグループ展。疫病退散に効くというアマビエを描いてコロナ禍を乗り越えようと主催者が呼び掛けた。

出展された作品は、絵画のほか切り絵や写真、アクリルなど様々で、矢橋社長は点描画。

同社の航空レーザにちなみ、点群データの手法をアートに応用。背景に同社作成のオルソン画像を配し、海から来た妖怪アマビエを農業土木に置き換え、作品タイトルも「令和三年

度航空レーザ測量による高精度標高データ整備業務(甘美絵地区)」と、仕事柄を出している。

会場のカフェエスキスは、札幌市中央区北1条西23丁目1-1(メゾンドブーケ円山1F)。作品展は3月23日まで開催している。

なお、カフェエスキスのオーナー・中川洋史氏はかつて北海道技術コンサルタンツ(札幌)に勤務。公園設計などに従事した技術者だった。



点群データでアマビエを描いた矢橋社長

令和3年(2021年)3月2日 北海道建設新聞

(3) 民間・総合

第3種郵便物認可

### 点群データ手法応用アマビエ点描画

北海航測・矢橋社長



点群データの手法をアートに応用した矢橋社長の作品

北海航測(本社・札幌)の矢橋潤一郎社長は、札幌市内のカフェで開催中の「アマビエ作品展」に、航空レーザにちなみ、点群データの手法をアートに応用した点描画を出展している。

アマビエは日本に伝わる妖怪。作品展は疫病退散に効くといわれるアマビエを描き、コロナ禍を乗り越えようという企画で、札幌市内のアーティスト15人が絵画や切り絵、真鍮などを披露する。

同社の常連で、オーナーの誘いから作品展に参画した。オーナーの中川洋史さんは北海道技術コンサルタンツ(本社・札幌)OBで、現役時代は技術者として公園設計などに従事した。

## 建設業が描く 芸術・歴史

洋史さんは北海道技術コンサルタンツ(本社・札幌)OBで、現役時代は技術者として公園設計などに従事した。

## 点描画

## 「令和三年度 航空レーザ測量による高精度標高データ整備業務

(甘美絵地区)」

## (概要)

北海航測（株）業務のひとつである航空レーザに因み、点群データの手法を点描に応用した。背景に空間計測部で作成したオルソ画像を配し、海から来た妖怪アマビエを、甘美絵という架空の地域に登場させた。

## 【北海航測】

昭和 39 年創業。本社・札幌市中央区北 3 条西 17 丁目。社員数 40 名。航空レーザ計測・航空写真測量、建設コンサルタント（農業土木・森林土木）、地理情報システムを生業とする。業務の殆どは公共事業。保有機体（セスナ）は丘珠空港に駐機。

## 【航空レーザ】

小型航空機に搭載したレーザ測距儀から高密度な近赤外レーザパルス光線を地上に照射し、その反射光を解析して高精度な地表面地形標高データを取得する技術。

簡単にいうと、レーザービームが当たった箇所（点）の緯度・経度・高さを情報として取得・集積し、最終的には 3D 地図を作成する。

北海航測は道内で初めて 2003 年に導入。昨年末に 3 代目となる TerrainMapper2（ライカジオシステムズ社製）を、2 億円かけて更新した。レーザ光照射数が 1 秒間に最大約 200 万発で、導入初期型と比較して照射数が約 20 倍も向上。

主に自然災害で能力を発揮し、東日本大震災では発災直後に南三陸（宮城県）の津波侵食状況を計測。道内では十勝方面で台風通過後の被災状況を計測し、第 1 回災害対策関係功労者として国土地理院から感謝状を受けた。胆振東部地震でも厚真町を中心とした被災地全域を計測し、復興の基礎データとして役立てられている。

ドローンの能力が向上したため混同されるようになったが、広域を短期に高精度で計測するには、ドローンはまだ及ばない。

## 【オルソ画像】

空中写真はレンズの作用によって写真上の像に位置ズレが生じる。オルソ画像はそのズレを無くし、地図と同じく垂直に真上から見たような画像に変換したもの。空中三角測量によってこれを図化したものが、地図となる。



本社ビル



当社専属機

釣書

## 矢橋 潤一郎 (52歳) 独身

### 【略歴】

1988年 北海道札幌西高等学校 卒業 (在学中1年間 豪州・Immanuel Collegeへ留学)  
 1994年 大阪市立大学 経済学部 卒業  
 (株)朝日新聞社 入社 ・ 東京本社勤務  
 1999年 北海道大学大学院 農学研究科 農業工学専攻 博士前期課程 修了  
 2003年 北海航測(株) 代表取締役社長

### 【業界】

札幌市測友会 会長  
 (一社)北海道測量設計業協会 理事  
 (公社)日本測量協会 北海道支部 幹事  
 札幌商工会議所 測量設計分科会 分科会長  
 そくりょう&デザイン企業年金基金 理事

### 【地域】

札幌市中央区明るい選挙推進協会 会長  
 桑園第5町内会 副会長

### 【その他】

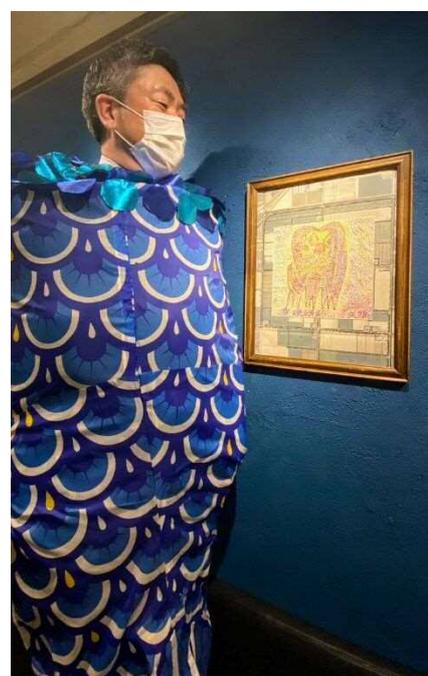
北星学園大学短期大学部 生活創造学科 非常勤講師  
 ビッグイシューさっぽろ 監事  
 (一社)北海道ザンギ連盟 顧問

陸上自衛隊 第11偵察隊後援会 会長  
 北海道「正論」友の会 監事

(一社)茶道裏千家淡交会 札幌第三支部 副支部長  
 茶道裏千家 専任講師(茶名:宗潤)  
 超初心者向け茶道教室「お茶ごっこ」主宰

札幌東ロータリークラブ S.A.A.(役員)  
 国際ロータリー第2510地区 米山記念奨学生選考委員長  
 (一財)比国育英会バギオ基金 理事

防災士



Facebook /junichiro.yabashi

Instagram /yahachan

Twitter /yabashi

# 1. 建設産業の対象別PR内容

対象	今回のターゲット↓			保護者	
	小学生	中学生	(普通課程)	高校生 (専門課程)	大学生
職業選択の基準	楽しそう、格好いいなどイメージが良い			学んできたことが活かせる、適正がある、安心して長く働ける、誇りがもてる、産業としての将来性、世間の評判	
	体験したことがある、身近な人が働いているなど親近感がある			給与や休暇などの処遇、勤務地（転勤の有無）、労働環境、人材教育や育成に対する姿勢	
	親や教師など身近な大人が応援してくれる				
ターゲットに応じたPR	進路の選択に向けたPR			就職に向けたPR	
	体験型学習を通じて建設産業に興味と親しみを持ってもらい、入職へむけた進路の選択へとつなげる			インターンシップを通じて仕事に触れてもらうとともに、働く先輩の体験談等を通じ、就職後のイメージをもつことで入職を促す	
	仕事の成果として残る「物」や、作業で使用する重機や測量機器などの「道具（最新技術）」にスポットを当てる			具体的な役割や仕事内容、必要なスキルや知識、キャリアアップイメージなどを伝えるため「人（若者や女性）」にスポットを当てる	
	建設産業が作る施設や役割について知ってもらう			処遇改善や人材育成に力を入れている企業の取組を紹介	
	「建設産業」についての体験や見学を行える機会を多く設ける			地域に密着した仕事であることをアピール	
建設産業の魅力（重要性、やりがい、誇り）や存在意義、基幹産業としての安定性と将来性をアピール					
方法	ミニさっぽろ (3・4年生)	職場体験学習 (2年生)	地元のシゴト ワク!WORK! (主に1・2年生)		現場見学、インターンシップ、職場見学
	各種イベント（展示型・参加型）、パンフレットや動画、新聞、テレビ番組、インフラツアー、業界団体や企業のHPなど				

## 2. 中高生向け建設産業PRパンフレットのコンセプト

資料3-2

### 目的

- 建設産業の役割や魅力（重要性、やりがい、誇り）をアピールすることで、将来的な入職へ向けた進路の選択につなげる
- 「建設産業で働く＝工事現場で働く」だけではなく、様々な専門知識・技術を持つ人が必要なことも認識してもらう
- 新技術導入による生産性向上の取組や業界として働きやすい環境づくりに取り組んでいることをアピールし、イメージアップを図る
- 建設産業へアプローチするステップ「知る→触れる→学ぶ」を例示して、より知ってもらうための行動を促す

### 留意点

- さっぽろの建設産業PRなので、掲載する写真やPRイベントなどは市内にあるものを掲載する
- 「さっぽろ」というまち自体が、魅力的で人気があるということを確認してもらう
- 職種や仕事の内容を細かく説明すると膨大なボリュームとなることから、基本的な情報を大まかに掲載する

### 使用シーン

- 現場見学会、体験型イベント等での配布
- データ版を業界団体や企業等のホームページへ掲載

### 形状・仕様

- A4版8ページ

### 構成案

- いいね！SAPPORO☆彡・未来をつくる建設産業
- 建設産業の役割（Ⅰ.まちをつくる、Ⅱ.生活を支える、Ⅲ.地域を守る）
- 建設産業で働く人たち
- これからの建設産業（進化する技術とデジタル化の推進、働きやすい環境づくり）
- 建設産業のことをより知るために

# インフラ整備・管理の高度化とDXの推進

参考資料

平成28年（2016年）～ 内閣府

平成28年（2016年）～ 国土交通省

令和2年（2020年）～ 内閣府

## Society5.0（超スマート社会）

- ・仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。
- ・IoT、ロボット、人工知能（AI）ビッグデータ等の先端技術をあらゆる産業や社会に取り入れ、格差なく、多様なニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供。

## 国土交通省生産性革命プロジェクト

- ・次世代モビリティの推進/スマートシティの推進
- ・データの横断的フル活用、データプラットフォームの構築等
- ・観光先進国の実現・地域空間の魅力向上
- ・インフラの整備・管理・機能や産業の高度化

## デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- DXの概念～進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへの変革すること。
- ・政府は、経済財政運営と変革の基本方針2020の中で、「新たな日常」の実現に向けDXの推進を掲げている。
  - ・Society5.0の実現を目指してきた従来の取組を一步も二歩も進め、「新たな日常」定着・加速に向け、各種支援や規制改革等を通じ、地域を含む社会全体のDXの実装を加速する。

### インフラの整備・管理の高度化

国土交通省



#### ICT施工の推進

- ・建設生産プロセス全てを対象として、ICTを全面活用し、生産性を向上

#### インフラメンテナンス革命

- ・「事後保全」から「予防保全」への転換により、持続的・効率的なインフラメンテナンスを実現

上記に併せ、産業の高度化（建設キャリアアップシステムの活用、技術者配置の合理化）を図ることにより

**建設現場の生産性：2025年度までに2割向上、  
建設業入職者数：2023年度で5.5万人（2017年度4万人）を目指す**

出典：国土交通省

### インフラ分野のDXの推進

国土交通省

- ・感染症対策を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性の向上を図るため、5G等の基幹テクノロジーを活用したインフラ分野のDXを推進し、公共事業の円滑な実施や感染リスクの低減などを実現し、**建設業の新しい働き方への転換を推進。**

#### 【行動のDX】

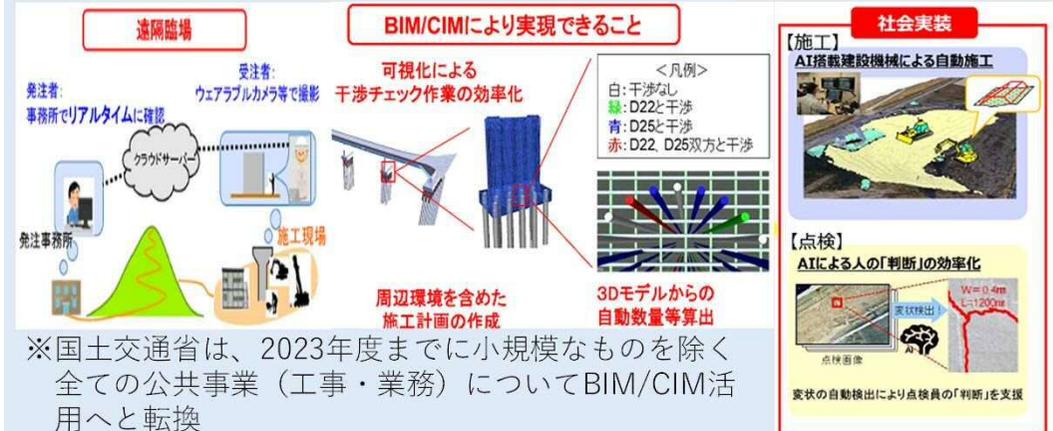
- ・対面主義にとらわれない働き方の推進

#### 【モノのDX】

- ・BIM/CIMの導入による建設生産プロセスの変革

#### 【知識・経験のDX】

- ・AI活用で熟練技能を継承



※国土交通省は、2023年度までに小規模なものを除く全ての公共事業（工事・業務）についてBIM/CIM活用へと転換

BIM/CIM：Building/Construction Information Modeling/Management

出典：国土交通省

# さっぽろの未来をつくる 建設産業

The construction industry which creates the future in Sapporo



## 表紙デザイン案検討中

- ・タイトルは仮である。
- ・タイトルのとおり、未来を感じさせるイラストを掲載する予定。
- ・現在掲載中のイラストは、HP等からの借用物のため、別途業務で作成した物に差し替える。

2021年(令和3年)〇月

さっぽろ建設産業活性化推進協議会

# 👍 いいね! SAPPORO

1922年（大正11年）に「札幌市」となった時には12万人余りの人口であった札幌は、1972年（昭和47年）にアジア初の冬季オリンピック札幌大会開催を経て大きく飛躍し、現在では、約197万人もの人々が暮らす世界的な大都市へと成長しました。

札幌は、自然と行政・商業・教育・観光といった都市機能が調和する暮らしやすいまちであり、多くの市民が地域に愛着を持ち、これからも住み続けたいと思っています。

また、市町村の魅力度ランキング調査では常に上位にランクインし、毎年1,500万人もの観光客が訪れるなど、国内外を問わず高い人気を誇る都市になっています。

札幌市は、2022年（令和4年）に市制100周年を迎えます。先人たちと私たちが築き上げてきた魅力的なこのまちを次の世代へ引き継いでいきます。

## 背景案検討中

# 未来をつくる建設産業

札幌が現在のような大都市になるには、建設産業のかかわりが欠かせないものでありました。また、これからも札幌の発展に欠かせないのが建設産業です。

建設産業には、「まちをつくる」「生活を支える」「地域を守る」といった役割があります。

また、洪水・地震・大雪などの自然災害が発生した場合は、その対応にあたるなど「地域の守り手」でもあり、製造業、運輸業、飲食業、観光業などの業種と共に札幌の経済を支える重要な産業の一つとして、多くの市民がその仕事に携わっています。

建設産業は、自分が手掛けた仕事は社会と人々の役に立っているという「やりがい」や、多くの人の技術と知識の結集によるチームで働く「楽しさ・喜び」が実感でき、地図に残る、後世に残る「未来をつくる」仕事です。

# 建設産業の役割

## 1. まちをつくる



建設産業は、道路、橋、トンネル、上下水道等のインフラの整備や、住宅、ショッピングモール、オフィスビル、学校の建設といった生活空間とまちをつくる仕事です。

現在、札幌市は魅力的なまちとして、国内外から高く評価されていますが、建設産業の作品であるインフラや様々な建物はそのまちづくりの基礎となり、その景色を彩るものになっています。

また、まちづくりにも関係する様々な計画やプランなどの作成、交通渋滞対策やバリアフリー化、建物の耐震化といった安全で快適なまちづくり、各種調査・対策を通じた自然環境を守るためのソフト的な取組にも建設産業は関わっています。

### 大通公園



昭和初期のようす：1936年（昭和11年）



現在のようす：2021年（令和3年）

### さっぽろドーム

### 掲載する写真は検討中

・札幌の代表的なインフラや建築物の建設中の写真と建設後の写真を掲載し、札幌市のまちづくりに建設産業が関わっていることをイメージで示す。

現在掲載中の写真は、HP等からの借用物、既存資料を転用したものであるため、各業界団体から収集及び使用許可を得たもの、または札幌市所有の写真に差し替える。



建設中：1999年（平成11年）



完成：2001年（平成13年）

### さっぽろ創世スクエア



建設中：2016年（平成28年）



完成：2018年（平成30年）



## II.生活を支える

道路や橋、上下水道施設などのインフラ施設、また建物や公園等を快適に利用し続けるには、毎日の点検や修理・修繕が大切になります。

建設産業は、これらインフラ施設等を長持ちさせるために、施設のパトロールや点検、修繕を日々行っており、市民生活を支えています。

また、冬には除排雪作業を担っており、冬期間の人の移動や物流を守り、市民の生活や経済活動を支えています。



橋梁の目視点検



掲載する写真は検討中

下水道処理設備の点検



道路の除排雪作業

## III.地域を守る

建設産業の各企業は、地震や風水害などの災害が発生した場合、それぞれの役割に応じて災害後のパトロールや応急復旧作業を行い、1日も早い地域の復旧に協力しています。

また、将来起こりうる災害による被害の予防や軽減に向けて、建物や橋の耐震対策や液状化対策、電柱の地中化等の対策に取り組むほか、防災計画やハザードマップの作成支援、防災に関する住民勉強会の支援など、日常の防災・減災の取組にも関わっています。



地震による被害の状況調査  
2018年（平成30年）9月



掲載する写真は検討中

地震による被害の応急復旧  
2018年（平成30年）9月



災害への備え  
(洪水ハザードマップ)

・現在掲載中の写真は、HP等からの借用物、既存資料を転用したものであるため、各業界団体から収集及び使用許可を得たもの、または札幌市所有の写真に差し替える。

# 建設産業で働く人たち

建設産業は、異なる専門知識・技術を持つ人たちがその役割に応じて協力し、支えあい仕事をするのも特徴となっています。

一般的には、「建設産業で働く人＝工事をする人」というイメージが強いかもしれませんが、実際には各行程で様々なプロフェッショナルたちが働いています。

ここでは、その一部について紹介します。

## ステップ1：計画



- ・どこにどんなインフラや建物をつくるか考える人たちです。  
(例：建設コンサルタント、建築士、官公庁職員)

## ステップ2：測量・調査



- ・つくるものの位置を決めたり、地盤を調査したりする人たちです。  
(例：測量士、地質調査技士)

掲載する写真は検討中

## ステップ3：設計



- ・インフラや建物の構造やデザインを決める人たちです。  
(例：建設コンサルタント、建築士)

## ステップ4：工事



- ・実際の現場で施工を行う人や、その作業の管理・監督をする人たちです。  
(例：技能士、施工管理技士、建築士、官公庁職員)

・現在掲載中の写真は、HP等からの借用物、既存資料を転用したものであるため、各業界団体から収集及び使用許可を得たもの、または札幌市所有の写真に差し替える。

# これからの建設産業 進化する技術と デジタル化の推進



建設産業においても、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)などのデジタル技術やデータを活用して、建設機械の遠隔操作やAI搭載建設機械による自動施工などの生産性向上に向けた取組が全国的に進められています。

さっぽろの建設産業においても、これら技術の活用を検討しており、施工現場における効率的な施工や安全性が向上することが期待されています。



## MR(複合現実)

掲載する写真は検討中



## ICT施工

# 働きやすい環境づくり



札幌市では、「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証制度※」を創設し、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)と女性の活躍に積極的に取り組む企業を認証し、取組の推進するための支援を行っています。

建設業界では、積極的に取組が進められており、同制度の全登録企業587社うち約4割にあたる221社が建設産業に関連する企業となっています。

(令和3年2月17日現在)



掲載する写真は検討中



※【札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証制度】仕事と子育ての両立に積極的に取り組む企業を認証する制度に女性活躍に関する要素を追加した制度

・現在掲載中の写真は、HP等からの借用物、既存資料を転用したものであるため、各業界団体から収集及び使用許可を得たもの、または札幌市所有の写真に差し替える。

# 建設産業のことを より知るために



## パソコンやスマホで見る

建設産業の仕事内容や職種などの詳しい内容については、建設産業の各団体で資料を作成しています。

また、最近では、インターネットはもちろん、YouTubeに動画をアップしている団体や企業も多くあります。

見ればきっと建設産業がより身近に感じられると思います。

### 建設現場へGO!

見る、知る、働く、建設作業の  
Jobポータルサイト



### 18歳のハローワーク

建設業で働く先輩たちの  
インタビューを多数掲載



掲載する内容は検討中



### ただいま 工事中!!

建築工事編、土木工事編、施工管理編



## PRイベントへの参加や職場体験学習で触れる

建設産業のことをたくさんの人に知ってもらうために、行政と建設産業の各団体や企業が協力をして、PRイベントを実施しています。

また、学校が授業の一環として行っている職場体験学習を通じ、建設産業の企業を直に見たり、実際の仕事を体験する機会もあります。

### 地元のシゴト ワク!WORK! (主に高校1・2年生対象)

高校生の地元企業への将来的な就職の促進を目的に行う「職業体験イベント」。



参加型

### 建設産業ふれあい展

ものづくりのお仕事を子どもから大人まで楽しく体験できるイベント。



掲載する写真は検討中

体験型

### 職場体験学習 (小学校～高等学校)

さまざまな職場での社会体験を通じて「働く大人」と接し、働くことの厳しさ、楽しさ、やりがいを学ぶ。



見学や体験



## 学校で学ぶ

札幌市内には、建設産業に関連する分野を学ぶことのできる学校があり専門的な勉強をすることができます。

学校で学ぶ分野を選択するにあたり、道路や橋、水道等の社会基盤をつくる「土木」、ビルやマンション等の建物をつくる「建築」、施設の中に入れるエアコンやエレベーターなど設備に関わる「電気・機械」に大きく分けることができます。

工業  
高等  
学校



**札幌工業高等学校**  
機械科/電気科/  
建築科/土木科



**札幌琴似  
工業高等学校**  
電子機械科/電気科



職業  
能力  
開発  
校



**札幌高等技術  
専門学院**  
建築技術科/建築設備科



専門  
学校



**札幌工科専門学校**  
環境土木工学科/  
造園緑地科/測量情報科/  
環境土木・造園施工管理科



**青山建築デザイン・  
医療事務専門学校**  
建築学科/建築研究科/  
建築設計デザイン科



**札幌科学技術  
専門学校**  
建築技術学科/  
電気技術学科



**北海道芸術  
デザイン専門学校**  
建築デザイン学科



大学



**北海道大学**  
工学部



**北海学園大学**  
工学部



**北海道科学大学**  
工学部



**札幌市立大学**  
デザイン学部



建設産業は、「まちをつくる」「生活をつくる」「地域を守る」大切な仕事です。

今後、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などデジタル技術の導入が進んで行き、若い皆さんのチカラを必要としています。

ものづくりや機械の操作が好きな人、ICT等の先進技術に興味のある人は、一度、建設産業に興味をもって下さい。

「さっぽろ建設産業活性化推進協議会」は、建設産業の道へ進む人を全力をあげて支援していきます！

### 【さっぽろ建設産業活性化推進協議会】

構成員 / 北海道大学 高野教授、（一社）札幌建設業協会札幌部会、札幌市土木事業協会、  
（一社）札幌中小建設業協会、（一社）北海道舗装事業協会、札幌舗会、札幌市除雪事業協会、  
札幌塗装工業協同組合、（一社）北海道造園緑化建設業協会札幌支部、  
（一社）札幌電設業協会、（一社）札幌空調衛生工事業協会、札幌市管工事業協同組合、  
札幌管和会、札幌環境維持管理協会、札幌建具工業協同組合  
（一社）建設コンサルタント協会北海道支部、札幌市設計同友会、札幌市測友会、  
（一社）北海道設備設計事務所協会、（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部、札幌市  
事務局 / 札幌市建設局土木部業務課（TEL：011-211-2612）

札幌市の取組

プランの記載（目標・施策・取組）	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
<p>第5章 施策及び具体的取組 取組目標1：建設産業の魅力向上や市民理解の醸成</p>		
<p>施策1-1：建設産業のPR事業の推進【業界団体、企業、市】 1-1-1施設見学、各種ツアー、建設産業ふれあい展などのPR事業の継続拡大 ・現場見学会の実施校の新規掘り起し</p> <p>・他機関と連携したPR事業及び新イベントの検討</p> <p>・PR事業の拡充（保護者を対象としたものなど）</p> <p>1-1-2建設産業の魅力を伝えるPRパンフレット等の制作及び活用 ・建設産業PRパンフの作成</p> <p>・PRパンフレットデータの活用（業界団体、企業、市のHPなど）</p> <p>・PR動画制作</p> <p>1-1-3札幌市や建設業界のホームページの活用等による情報発信体制の充実 ・ホームページ、SNS等の開設拡大、内容の充実</p> <p>・他機関の助成制度や取組の情報発信（ホームページ）</p> <p>・業界団体、企業のホームページ活用による情報発信促進のための支援策の検討</p>	<p>・既に実施をしている学校について把握したうえで、新規の学校について検討していく。</p> <p>・令和2年度（2/3時点）の実績については、以下のとおり。※協議会当日は、2月末時点のデータとする。</p> <p>・R2.7.29札幌市立大2、3年生を対象とした現場見学会：約20名参加</p> <p>・R2.9.18北海学園大2年生を対象とした現場見学会：36名参加</p> <p>・R2.9.24札幌緑小5、6年生を対象とした現場見学会：約350名参加</p> <p>・R2.10.9札幌工業高校1年生を対象とした現場見学会：81名参加</p> <p>・R2.10.22北海道科学大学2年生を対象とした現場見学会：52名参加</p> <p>・R2.11.5札幌市立大3年生を対象とした現場見学会：約20名参加</p> <p>・R2.12.26～R3.1.19小学生を対象とした橋の模型工作コンテスト：5点応募</p> <p>※夏休み親子土木施設見学ツアーの代替企画</p> <p>・北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会を通じ、他機関が行っている現場見学会やPR事業の情報を収集。</p> <p>・内容の検討。</p> <p>・業界や関係者の意見を伺い、今年度中に素案の完成を予定。</p> <p>(記載を削除)</p> <p>(記載を削除)</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.1</p> <p>・市ホームページに「建設産業お役立ち情報（企業、業界団体向け）」ページを新たに設け、「働き方改革」「担い手確保」「経営基盤の強化」「生産性の向上」に関する情報を掲載したところ。</p> <p>・支援方法について検討。</p>	<p>・既存の取組を継続するとともに、新規の学校について検討していく。</p> <p>・北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会を通じ、開発局や道との連携をし、共同で行える行事等について検討していく。</p> <p>・専門課程の学校に通う生徒の保護者を対象とした、イベントの開催に向け、具体的内容について検討していく。</p> <p>・パンフレット（中高生向け）を印刷し現場見学会などのイベントにおいて配布するとともに、データ版について、希望する業界団体や企業のホームページへの掲載。</p> <p>・新たなパンフレット（対象未定）の素案について作成。</p> <p>・市ホームページの「建設産業の活性化」ページにて情報発信。</p> <p>・R4年以降に対応予定。</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.1</p> <p>・適宜、掲載情報の更新等を行い管理していく。</p> <p>・新たに他機関や他部局で実施している、担い手の確保に資するイベントやセミナーに関する情報を掲載。</p> <p>・ホームページ開設に関するセミナーについて業界団体との共催にて実施を予定。開催に向け、業界団体との役割分担や具体的内容について検討していく。</p> <p>・PRパンフレットデータの掲載を促す。</p>
<p>施策1-2：女性がいきいきと働く姿を通じた魅力発信【業界団体、企業、市】 1-2-1 女性技術者等が参加するイベントの実施 ・女性の入職促進や離職防止を図るため、交流の場を提供するとともに、女性技術者の体験談や参加した学生の声のPRに活用</p> <p>1-2-2 女性の活動団体との連携強化 ・女性主体で構成される活動団体との連携強化により、企業の枠を超え女性の技術者等が集まり、交流等に取り組むことで女性活躍を推進するとともに団体の活動へ対する支援策を検討</p>	<p>・R2.10.17土木施設めぐり女子ツアー：16名参加</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.2</p> <p>・女性活動団体の存在を把握。</p> <p>・建設どさん娘の会（北海道建設業協会）</p> <p>・緑麗会（北海道造園緑化建設業協会）</p> <p>・設備女子会（建築設備技術者協会）</p> <p>・設備工事部会建設関連女子会（札幌商工会議所）</p> <p>・けんせつ小町（日本建設業連合会）</p> <p>・（一社）土木技術者女性の会</p>	<p>・土木施設女子ツアーを秋に実施予定。</p> <p>・土木以外の分野について、新たなイベントを検討していく。</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.2</p> <p>・各活動団体へのヒアリング等を通じ、必要な支援について検討していく。</p>

札幌市の取組

プランの記載（目標・施策・取組）	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
<p>第5章 施策及び具体的取組</p>		
<p>取組目標2：建設産業の働き方改革の推進</p>		
<p><b>施策2-1：工事発注における週休2日の取組の推進【企業、市】</b>  <b>2-1-1 週休2日工事の実施拡大（発注者の取組）</b>            ・可能な限り週休2日工事採用していくため、工期の制約を受ける場合についても、事業計画段階からの週休2日を考慮したスケジュールを検討</p> <p>・工事成績加点等について、週休2日試行が適用できない工事への取扱についての配慮</p> <p>・発注の際は、工期設定要領に基づき適正な工期を確保            ・書類簡素化や作業の効率化等の取組推進            ・フレックス方式が採用可能な現場は極力採用する</p> <p><b>2-1-1 週休2日工事の実施拡大（受注者の取組）</b>            ・週休2日の導入等に積極的に取り組む</p> <p>・下請契約の締結等は、国の通知に基づき実施。            ・下請企業においても、月給制の導入を考慮するなど、労働者の週休2日の希望に応える労働環境確保を目指す</p> <p><b>2-1-2 週休2日の導入を考慮した補正率の見直し</b></p> <p><b>施策2-2：適正な工期及び業務履行期間の設定【市】</b>  <b>2-2-1 週休2日の確保を前提とした工期等の設定</b>            ・事業計画段階からの週休2日を考慮したスケジュールを検討            ・工事発注時に工期設定要領に基づき適正な工期を確保            ・設計においても標準的な履行期間を設定するため、国の支援ツールの導入状況を踏まえ、適正な履行期間確保の取組を検討</p> <p><b>2-2-2業務履行期間の変更等の柔軟な運用</b></p> <p><b>施策2-3：施工時期及び業務履行期限の平準化の推進【市】</b>  <b>2-3-1 債務負担行為の活用等による工事の早期発注の継続・拡大</b></p> <p><b>2-3-2 業務履行期限の平準化の推進</b>            ・履行期限の年度末集中避けるため、早期発注業務を増加し平準化を進める</p> <p>・早期発注にむけ、繰越明許費や債務負担行為の活用を検討</p> <p><b>2-3-3 余裕期間制度（フレックス方式）対象工事の活用</b></p>	<p>・実績のある8部署において、全体の約4割の工事を週休2日試行工事として発注し、その内7割を超える工事で4週8休を達成（2/末時点）できる見込み。            ・取組の推進を目的とし、週休2日試行工事要領を改正し、分離発注工事の場合に、発注工事単位で現場作業事務所内の作業を含めて現場作業が行われない状態を「現場休息」と位置付け、週休2日の定義を4週8休（現場休息）に変更した。</p> <p>・加点評価を継続。            ・例年行っていた業界との意見交換会が中止となったため、業界の意見は集約できていない。            ・2-2-1に同じ。            ・2-4-1～2に同じ。            ・2-3-3に同じ。</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>・5-4-1に同じ。            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6</p> <p>・今後も国に準拠し適用していく。</p> <p>・2-1-1に同じ。            ・引き続き取り組んでいく。            ・国の進捗状況について情報を収集しているが、具体的な検討については進んでいない。            ・引き続き取り組んでいく。</p> <p>・工事発注実績のある12の部署を対象に調査したところ、継続して早期発注に努めており、4～6月に稼働をしている現場は約半数であった。</p> <p>・業務発注実績のある13の部署を対象に調査したところ、部署によりバラツキはあるが、約6割の業務において年度末（1～3月）に完了を迎える。</p> <p>・債務負担行為を活用した業務発注に向け検討を進めた。</p> <p>・実績のある4部署において全体の約2割の工事を余裕期間制度を適用し工事を発注した。</p>	<p>・9部署において全体の約半数の工事を週休2日試行工事として発注する予定。            ・一方で、「実施時期が指定もしくは限定される」や「工事に伴う影響が大きく早期に完成させる必要がある」等の理由から、週休2日を前提とした工期設定が困難である工事も半数ある。            ・対応が可能な課題については解決することで、試行工事の発注を拡大していくことを目指す。            ・また、4週8休の達成率の上昇に向け、発注者の役割として必要な支援に取り組んでいく。</p> <p>・週休2日試行工事の発注を継続している間は現状維持とするか等、業界団体等の意見も踏まえながら判断していく。</p> <p>・2-2-1に同じ。            ・2-4-1～2に同じ。            ・2-3-3に同じ。</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>・5-4-1に同じ。            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6</p> <p>・今後も国に準拠し適用していく。</p> <p>・2-1-1に同じ。            ・引き続き取り組んでいく。            ・支援ツールの利用も含め、業界の意見も含め適正な履行期間を確保する取組を検討していく。            ・引き続き取り組んでいく。</p> <p>・4～6月に稼働する現場は約6割を見込んでいる。            ・早期発注の実施割合などのバランスに留意しつつ取組を継続していく。</p> <p>・計画的に業務を発注できるよう、企画計画部門も含め庁内調整を行っていく。</p> <p>・対応が可能なものについて、債務負担行為を活用し履行期限の分散化に努めていく。            ・5部署において全体の約4割の工事を試行工事として発注予定。            ・余裕期間を設けることで施工時期が冬期にかかり品質の低下が懸念されるものや、関連工事間で綿密な工程調整を要するものなど、試行が困難な現場もあることに留意が必要であるが、可能な範囲で今後も拡大していく。</p>

札幌市の取組

プランの記載（目標・施策・取組）	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
<b>第5章 施策及び具体的取組</b>		
<p><b>施策2-4：受注者の作業効率化の推進【市】</b>  <b>2-4-1 工事に係る事務の効率化</b>            ・工事書類及び検査の簡素化</p> <p>・電子納品の推進</p> <p>・ASP導入推進</p> <p><b>2-4-2業務等の効率化に資する取組</b>            ・業務におけるウィークリースタンス、ワンデーレスポンスなど、受注者の環境改善につながる対応について徹底を図る</p> <p>・効率化に資する取組について取り入れることを検討（条件明示の徹底、業務確認会議、合同現地踏査、業務スケジュールの適切な管理、照査の確実な実施）</p> <p>・工事においてもウィークリースタンス等の徹底、効率化の取組推進に努める</p> <p><b>施策2-5：労働時間縮減に向けた取組の推進【企業】</b>  <b>2-5-1 各企業での週休2日の確保、または年間トータルでの休暇取得の推進</b></p> <p>・工事や業務の受注者においても適正な工程を確保し下請業者も含めて工程管理の徹底を図る            ・現場での週休二日を目指し、土日閉所が可能な現場は促進を図る</p> <p>・週休二日が困難でも、現場で働く人全員が年間トータルでの休暇取得に努める            ・国や道・市の発注工事で一体的に行う統一土曜閉所等に積極的に取り組む</p>	<p>・書類簡素化については、土木、営繕ともに、国や道を参考にし順次対応していく。            ・引き続き検討していく。</p> <p>・引き続き検討していく。</p> <p>・導入に必要な環境を整備。</p> <p>・工事発注部局への照会では、ウィークリースタンスは概ね取り組んでいる一方、ワンデーレスポンスの取組状況はまだ低い。</p> <p>・対応可能な項目から取組を開始するよう検討。（記載を削除）</p> <p>・条件明示に努めている。</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p>	<p>・書類簡素化については、土木、営繕ともに、国や道を参考にし順次対応していく。            ・引き続き検討していく。</p> <p>・引き続き検討していく。</p> <p>・導入推進に向けた取組を検討していく。</p> <p>・全庁的なウィークリースタンス、ワンデーレスポンスの実施を検討していく。</p> <p>・ウィークリースタンス、条件明示、照査の確実な実施について取組を開始する。            ・ただし、取り組むことで業者にとっても手間が増えるものがあり、全ての項目について「徹底」とするとかえって企業に負担をかける恐れもあるため慎重に対応していく。（業務確認会議、業務スケジュールの適切な管理など）</p> <p>・全庁的なウィークリースタンス、ワンデーレスポンスの実施を検討していく。</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.3</p>
<b>取組目標3：担い手確保に向けた取組の推進</b>		
<p><b>施策3-1：担い手確保に向けた取組の積極的な実施【企業】</b>  <b>3-1-1 働き方改革や就業環境の整備、人材育成の推進</b>            ・各企業が就職先として選ばれるため、働き方改革や就業環境の整備、人材育成の取組を推進を図る</p> <p><b>3-1-2 学生等の入職促進等に向けたインターンシップ等の取組の推進</b>            ・学生等の入職促進及び離職防止効果があるインターンシップの実施や、入職希望者に対する見学受入などの取組を推進            ・個々の企業での実施が困難である場合、市や札商などが行う事業の活用も考慮する</p> <p><b>3-1-3 社員10人未満の企業における入職促進等に向けた取組の推進</b></p> <p><b>3-1-4 企業PRや求人等の各種情報発信の推進</b></p>	<p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.4</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.4</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.4</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.4</p> <p>・1-1-3に同じ。</p>	<p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.4</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.4</p> <p>・「ミニさっぽろ」のイベント概要について情報を収集する。</p> <p>【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.4</p> <p>・1-1-3に同じ。</p>

札幌市の取組

プランの記載（目標・施策・取組）	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
<p><b>第5章 施策及び具体的取組</b></p> <p><b>施策3-2：建設産業の活性化に資する取組に対する助成制度の拡充【市】</b></p> <p><b>3-2-1 既存の助成制度の見直し（建設業人材確保・育成支援事業）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全庁的な取組として制度を活用するため対象となる局を拡大</li> </ul> <p>・インターンシップについて2日の実施についても対象とする</p> <p>・免許助成拡大検討</p> <p>・快適トイレの適用も検討し、男性就業者も含めた環境整備の取組を拡大</p> <p>・手続きの簡素化の検討</p> <p><b>3-2-2 建設産業の担い手確保等の取組に対する支援策の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担い手確保の様々な取組に活用できる助成制度を検討</li> <li>企業のHP整備や就業規則作成等に対する支援策を検討</li> </ul> <p><b>3-2-3 建設現場での生産性向上等の取組に対する支援策の検討</b></p> <p><b>3-2-4 他機関の人材確保・育成に資する取組への支援等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技能フェスティバルの開催を支援</li> <li>職業能力開発促進法に基づき認定を受けた団体等が実施する職業訓練の経費に対する補助</li> </ul> <p><b>施策3-3：女性にとっても働きやすい環境づくりの推進【市】</b></p> <p><b>3-3-1 建設現場での女性の労働環境改善などに対する支援</b></p> <p><b>3-3-2 札幌市の男女共同参画に関する取組・施策等との連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4次男女共同参画さっぽろプランと既存の取組との連携</li> </ul> <p>・国交省が策定した行動計画を参考にして女性を応援する取組を検討</p> <p><b>3-3-3 女性にとっても働きやすい環境づくりに資する取組の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WLB+、えるぼし取得企業の優良事例の情報発信を検討</li> </ul> <p>・女性が働きやすい職場環境づくりを目指す企業に対して先進事例を提供</p> <p>・市が専門家を招聘してセミナーを開催するなどの支援策を検討</p> <p><b>施策3-4：技術者及び技能労働者の採用に向けた取組等への支援【市】</b></p> <p><b>3-4-1 建設産業の合同企業説明会等に対する支援策の検討</b></p> <p><b>3-4-2 採用説明会等に活用できる建設産業PR資料の作成</b></p> <p><b>3-4-3 企業情報の周知に関する支援策の検討</b></p> <p><b>3-4-4 企業向けの勉強会やセミナーの開催</b></p> <p><b>施策3-5：企業の枠を超えた若者・女性の活動に対する支援【業界団体、企</b></p> <p><b>3-5-1若者・女性の活動との連携や横のつながりを創出する機会確保等の支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者対象の合同研修の開催支援の検討</li> </ul> <p>・女性活動団体との連携強化や支援の取組を検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界や企業へのPRを行ったところ。</li> <li>令和2年度（2/末時点）の実績については、以下のとおり。</li> <li>①女性用トイレ更衣室設置への助成15件、②女性の作業服等の装備品購入に対する助成10件、③企業のインターンシップ受入れに対する助成29件（3日間:26件、2日間:3件）、④大型特殊免許取得に係る助成16件の全70件であり計画件数159件に対し4割の実施となっている。</li> <li>対象局の内訳は、①建設局53件、②下水道河川局9件、③都市局5件、④交通局1件、⑤水道局3件となっている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>業界や企業へのPRを行ったところ。</li> <li>他機関や他都市における情報を収集。</li> <li>建設局、下水道河川局、都市局で快適トイレ試行工事を発注。</li> <li>道路維持除雪業務への導入可否についての検討。（記載を削除）</li> <li>手続きの簡素化を行った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>他機関や他都市における情報を収集。</li> <li>1-1-3、3-1-4に同じ。</li> <li>内容を検討していく。（実際の対応はR3年以降）</li> <li>現行の取組を継続。</li> </ul> <p>・3-2-1に同じ。</p> <p>・経済観光局が主催する「働き方改革のための出前講座」について業界や企業へ案内。建設関係企業として6社の申し込みがあった。</p> <p>・内容の検討。（記載を削除）</p> <p>（記載を削除）</p> <p>・3-3-2に同じ。</p> <p>・内容の検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1-2に同じ。</li> <li>1-1-3に同じ。</li> <li>3-3-2に同じ。</li> </ul> <p>【業界団体の対応】※R2年12月実施照会項目No.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集をした。</li> <li>1-2-2に同じ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界や企業へのPRを引き続き行う。</li> <li>令和3年度の計画（予算上の上限）については、以下のとおり。</li> <li>①女性用トイレ更衣室設置への助成20件、②女性の作業服等の装備品購入に対する助成40件、③企業のインターンシップ受入れに対する助成60件（3日間:40件、2日間:20件）、④大型特殊免許取得に係る助成40件。①～④計160件。</li> <li>上記①～④に加え、⑤としてICT導入支援に関する助成金について現在検討中。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>業界や企業へのPRを引き続き行う。</li> <li>内容を検討した上で庁内の調整（予算要求含む）を進めていく。</li> <li>新たな部局で快適トイレ試行工事を発注し取組を拡大していく。</li> <li>道路維持除雪業務への導入可否について引き続き検討していく。</li> </ul> <p>・手続きの効率化について検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容について検討していく。</li> <li>1-1-3、3-1-4に同じ。</li> <li>ICT導入支援の取組を実施。</li> <li>現行の取組を継続。</li> </ul> <p>・3-2-1に同じ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済観光局が主催する取組について、効果的な連携が図れるものについて、業界や企業へ案内していく。</li> <li>内容について引き続き検討していく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画室との連携し、市ホームページの「建設産業の活性化」ページにて情報発信。</li> <li>経済観光局が行っている「女性活躍に向けた働き方改革ロールモデル事業」について業界へアナウンス。</li> <li>3-3-2に同じ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁内にて情報共有を図りながら検討を進めていく。</li> </ul> <p>【例】経済観光局が実施するワークフェスさっぽろ（合同企業説明会）との連携。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1-2に同じ。</li> <li>1-1-3に同じ。</li> <li>3-3-2に同じ。</li> </ul> <p>【業界団体の対応】※R2年12月実施照会項目No.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業界団体や企業のニーズを把握した上で支援方法について検討していく。</li> <li>1-2-2に同じ。</li> </ul>

札幌市の取組

プランの記載（目標・施策・取組）	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
<p><b>第5章 施策及び具体的取組</b>  <b>施策3-6：各種支援制度等に関する情報の集約・発信【市】</b>            3-6-1 各機関が実施する各種支援制度に関する情報の集約・発信            3-6-2 札幌市等の認証・認定制度に関する企業の取組情報の発信</p>	<p>・1-1-3に同じ。            ・市ホームページの「建設産業の活性化」ページにてサッポロQMSの情報を発信。</p>	<p>・1-1-3に同じ。            ・他の認証制度についても、市ホームページの「建設産業の活性化」ページでの情報発信を検討していく。</p>
<p><b>取組目標4：人材確保、品質確保や地域貢献等に取り組む企業の支援</b>  <b>施策4-1：企業の人材確保等の取組や技術力を考慮した発注方法の活用【市】</b>            4-1-1 多様な入札契約制度の活用等            ・工事の総評の充実、調査・設計も含めて総評の活用を図る            ・除雪や災害対応を担う企業の育成等に資する制度の検討            ・新たな取組を促進するため、国や他の自治体を参考に発注方法を検討  <b>施策4-2：建設産業の活性化に資する取組に対する表彰制度等の検討【市】</b>            4-2-1表彰や認証・認定制度の充実・活用等の検討            ・活性化に資する取組の表彰制度等について創設を検討            ・表彰や認証等の対象となった企業について、内容等を市HPで公表しPR            ・表彰等を受けた企業に対して総評の評価項目としての活用を検討する</p>	<p>・引き続き取り組んでいく。            ・内容を検討していく。            ・他機関の事例について情報収集。            ・R3年以降に検討。            ・R3年以降に検討。            ・R3年以降に検討。</p>	<p>・引き続き取り組んでいく。            ・内容を検討していく。            ・他機関の事例について情報収集。            ・R3年以降に検討。            ・R3年以降に検討。            ・R3年以降に検討。</p>
<p><b>取組目標5：企業の経営基盤の強化と適正な利潤の確保</b>  <b>施策5-1：適正な予定価格の設定【市】</b>            5-1-1 現場と乖離のない歩掛・積算基準            5-1-2 適正な利潤の確保に向けた積算基準の設定  <b>施策5-2：中長期的な事業量の見通し【市】</b>            5-2-1 建設事業費の見通しと事業の実施  <b>施策5-3：地域を支える地元企業等の受注機会の確保【市】</b>            5-3-1 地元企業への優先発注            5-3-2 地域を支える企業の受注機会の確保  <b>施策5-4：下請契約の適正化及び技能労働者の処遇改善に向けた取組の実施【企業】</b>            5-4-1 下請契約の適正化及び技能労働者の処遇改善に向けた取組の実施            ・元請と下請との間の取引の適正化等に努める            ・工事受注者は、技能労働者の賃金確保を促し、処遇改善を図ることに努める            ・建設キャリアアップシステムを活用し、処遇改善や労働時間管理に努める  <b>施策5-5：下請契約等の適正化に関する啓発の強化【市】</b>            5-5-1下請契約等の適正化に関する啓発の強化            ・下請契約の適正化に関する国の通知等を踏まえた啓発文書を送付する            ・下請契約に関する注意事項についての啓発を強化する            ・国の通知の周知徹底に向けた取組の検討</p>	<p>・バリアフリー工事について、受注企業へのアンケート調査を行い積算の見直しを行った。            ・国等に準拠し速やかに対応していく。            ・アクションプラン2019に示した各事業について、計画的な事業執行に努めた。            ・地元企業への優先発注を原則とすることで、地元企業の受注機会の確保に努めた。            地域を支える企業の受注機会の確保につながる多様な入札方法の活用にも努めた。            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6            ・引き続き取り組んでいく。            ・引き続き取り組んでいく。            ・市ホームページに「建設産業お役立ち情報（企業、業界団体向け）」ページを設け情報を掲載したところ。</p>	<p>・引き続き取り組んでいく。            ・引き続き取り組んでいく。            ・引き続き取り組んでいく。            ・引き続き取り組んでいく。            ・内容を検討していく。            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6            【業界団体の対応】 【企業の対応】 ※R2年12月実施照会項目No.6            ・引き続き取り組んでいく。            ・引き続き取り組んでいく。            ・適宜、掲載情報の更新等を行い管理していく。</p>
<p><b>取組目標6：生産性向上につながるi-Constructionの推進</b>  <b>施策6-1：ICT活用工事の拡大【市】</b>            6-1-1 ICT土工・舗装工やその他の工種への適用拡大の検討            ・国の動向を注視しつつ可能性のあるものについて試行推進</p>	<p>・ICT土工5件、地盤改良2件、舗装工（修繕）9件、計16件について発注し、内9件について実施したところ。</p>	<p>・ICT土工6件、舗装工2件、舗装工（修繕工）18件、計26件発注予定。            ・新たに「構造物（橋台・橋脚）」、「路盤工」での適用を検討していく。</p>

札幌市の取組

プランの記載（目標・施策・取組）	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
<b>第5章 施策及び具体的取組</b>		
<p><b>施策6-2：i-Constructionによる事業の効率化【企業、市】</b>  <b>6-2-1 除排雪作業の効率化・省力化に向けたICTの活用</b></p> <p>6-2-2 ICT新技術の市街地工事や維持管理分野への活用の検討</p> <p>6-2-3 コンクリートのプレキャスト化の活用の検討</p> <p>6-2-4 BIM/CIM活用業務及び設計段階からの3次元設計図面の導入の検討</p> <p><b>施策6-3：ICT施工の導入促進策の検討【市】</b>  <b>6-3-1 ICT施工の導入促進策の検討</b>            ・国等を参考に、ICT活用工事での実施率を上げる方策を検討            ・ICT建機リース料に係る支援策を検討</p> <p><b>施策6-4：受注者の作業効率化の推進【市】</b></p>	<p>（冬みちプラン2018・実行プログラムに基づき実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆1人乗り除雪機械の導入               <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪グレーダー：11台増（延べ43台）</li> </ul> </li> <li>◆提出書類の電子化や除雪機械の運行管理の最適化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪機械へのGPS受信端末の設置500台（380台増）、システム改良（操作の簡素化等）</li> </ul> </li> <li>◆雪堆積場選定の自動化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定システムの構築に向けた条件フローの検討</li> </ul> </li> <li>◆「i-Snow」への参画による先進技術の共有と活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォームにおける情報共有（平成29年3月から延べ8回出席）</li> </ul> </li> </ul> <p>・国や他自治体の動向について情報収集。</p> <p>・国や他自治体の動向について情報収集。</p> <p>・国や他自治体の動向について情報収集。</p> <p>・国や他自治体の動向について情報収集。</p> <p>・3-2-3に同じ。</p> <p>・2-4に同じ。</p>	<p>（冬みちプラン2018・実行プログラムに基づき実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆1人乗り除雪機械の導入               <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪グレーダー：12台増（延べ55台）</li> </ul> </li> <li>◆提出書類の電子化や除雪機械の運行管理の最適化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪機械へのGPS受信端末の設置目標1,000台（500台増）、システム改良（設計図作成機能等）</li> </ul> </li> <li>◆雪堆積場選定の自動化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定システム構築</li> </ul> </li> <li>◆「i-Snow」への参画による先進技術の共有と活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォームにおける情報共有（継続）</li> </ul> </li> </ul> <p>・引き続き情報収集を行う。</p> <p>・引き続き情報収集を行う。</p> <p>・引き続き情報収集を行う。</p> <p>・引き続き情報収集を行う。</p> <p>・3-2-3に同じ。</p> <p>・2-4に同じ。</p>
<b>取組目標7：建設産業の発展に向けた横断的な取組の実施</b>		
<p><b>施策7-1：企業の事業承継などの取組への支援【市】</b></p> <p>7-1-1 事業承継に関する市の取組との連携</p> <p>7-1-2 事業承継や合併などにおいて体制維持を目指す企業への支援策の検討</p> <p>・入札参加者への合併支援策の周知</p> <p>・合併にあたっての課題を整理し、支援の方法等について検討</p> <p><b>施策7-2：関係業界との連携強化【企業、市】</b>            7-2-1建設業以外の下請業者や取引業者の確保に向けた連携強化</p> <p><b>施策7-3：札幌市産業人材創出推進本部や関連計画等との連携【市】</b>            7-3-1札幌市産業人材創出推進本部の取組との連携</p> <p>・産業人材創出推進本部に設置される「労働力不足業界支援分科会」との連携</p> <p>・産業人材創出推進本部に設置される「外国人材受入支援分科会」との連携</p> <p>7-3-2 市の関連計画との連携</p> <p><b>施策7-4：教育分野との連携【市】</b>            7-4-1 建設産業に対する子どもの理解の醸成</p> <p>・様々な職業について学ぶ機会として建設現場の活用など連携拡大に向け検討</p> <p>・建設産業の役割について理解してもらえよう教育分野との連携を図る</p> <p><b>施策7-5：他機関の建設産業関連施策との連携【市】</b>            7-5-1 他機関の建設産業関連施策との連携</p> <p>・担い手確保について、国や道と連携し効果的な取組を目指す</p> <p>・他機関が行う支援事業を踏まえつつ利用しやすい支援制度を目指す</p>	<p>・事業承継に関する市の取組と連携を図る。</p> <p>（記載を削除）</p> <p>・適宜対応をしていく。</p> <p>（記載を削除）</p> <p>（記載を削除）</p> <p>・適宜対応をしていく。</p> <p>（記載を削除）</p> <p>（記載を削除）</p> <p>・北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会への参加。</p> <p>・他機関で行っている現場見学会等について情報を収集。</p> <p>・他機関の支援制度について情報収集。</p>	<p>・経済観光局と連携し、市ホームページの「建設産業お役立ち情報（企業、業界団体向け）」ページにて情報発信することを検討。</p> <p>・財政局と連携し、市ホームページの「建設産業お役立ち情報（企業、業界団体向け）」ページにて情報発信することを検討。</p> <p>・情報収集。</p> <p>・適宜対応をしていく。</p> <p>・適宜対応をしていく。</p> <p>・適宜対応をしていく。</p> <p>・適宜対応をしていく。</p> <p>・中学2年生を対象として行っている「職場体験学習」の協力について、教育委員会との調整を行っていく。</p> <p>・関係部局と調整し検討していく。</p> <p>・北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会への参加。</p> <p>・現場見学会等について他機関との連携を検討。</p> <p>・内容について引き続き情報収集。</p>

札幌市の取組

プランの記載（目標・施策・取組）	令和2年度取組状況（実績）	令和3年度取組予定
第5章 施策及び具体的取組		
取組目標8：将来に向けた広い観点での中長期的課題の検討		
施策8-1：地元建設産業の持続的な体制確保に向けた中長期的課題の検討【市】	(記載を削除)	・適宜、持続的な体制確保に向けた中長期的な課題を検討していく。
施策8-2：国の政策に関する要望の対応検討【市】	(記載を削除)	・情報収集。
施策8-3：官民含めた建設業界全体での働き方改革の推進【企業、市】	(記載を削除)	・情報収集。

各業界団体への照会結果

No.	活性化プラン第5章に記載の施策・取組・方向性など	各業界団体への照会内容
1	1-1-3 札幌市や建設業界のホームページの活用等による情報発信体制の充実 (P69) ・業界団体、企業からの積極的な情報発信が建設産業や各企業に対する理解促進につながることから、業界団体、企業のホームページ・SNS等の開設拡大・内容充実を図ることにより、情報発信の強化を目指します。	・貴団体や会員企業のホームページやSNS (YouTube、Instagram、Facebookなど) 等の開設拡大 (新規開設を含む)、内容充実について予定されている取組。

各団体の取組状況 (情報発信体制の充実)

No.	団体名	現時点の状況			令和2年度の取組状況 (実績)	令和3年度の取組予定
		団体HP等の有無	会員企業HP開設率	会員企業HP採用情報掲載率		
1	(一社)札幌建設業協会	○	100% (23社/23社)	91% (21社/23社)	・PRマンガや動画を製作しており、今年度は動画＝施工管理編を制作。(団体) ・マンガ、動画の提供による会員企業のPR事業の支援。(団体)	・制作したPRマンガや動画を活用方法を研究し、情報発信の充実を図る。(団体) ・マンガ、動画の提供による会員企業のPR事業の支援。(団体)
2	札幌市土木事業協会	×	76% (16社/21社)	100% (16社/16社)	・若手技術者の紹介PR掲載を目指す。(会員企業)	・HPで工事実績を毎年更新し、写真により見やすくする。(会員企業) ・若手技術者の欄を設け、会社のPRを図る。(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	○	64% (25社/39社)	92% (23社/25社)		
4	(一社)北海道舗装事業協会	○	64% (25社/39社)	86% (12社/14社)	・業界の情報公開やイメージアップを目的に、一般の方向けのコンテンツを加えてリニューアル。(団体)	・HPに求職者や一般向けコンテンツを拡充(団体)
5	札幌会	×	53% (10社/19社)	100% (10社/10社)		
6	札幌市除雪事業協会	×	49% (41社/84社)	88% (36社/41社)		
7	札幌建具工業協同組合	○	33% (7社/21社)	29% (2社/7社)		
8	(一社)札幌電設業協会	×	62% (28社/45社)	75% (21社/28社)		
9	札幌環境維持管理協会	○	92% (12社/13社)	67% (8社/12社)	・今年度の事業としてHPを作成し、業界団体としての情報発信はもとより会員間の情報交換に役立てていく予定。(団体)	・HPを活用して、業界団体としての情報発信はもとより会員間の情報交換に役たてていく。(団体)
10	(一社)北海道造園緑化建設業協会	○	80% (8社/10社)	75% (6社/8社)		・HPで協会各会員の事業紹介を更新
11	札幌塗装工業協同組合	○	75% (9社/12社)	78% (7社/9社)	・組合HPに「働き方改革」等の取組に対する情報発信を検討していきたい。(団体)	・若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を検討し、更に、SNSによる情報発信も検討していきたい。(団体)
12	札幌市管工事業協同組合	○	55% (27社/49社)	70% (19社/27社)		
13	札幌管和会	×	50% (5社/10社)	20% (1社/5社)	・HPでの内容、社内の休日への取組をわかりやすく更新する。(会員企業)	
14	(一社)札幌空調衛生工事業協会	○	81% (13社/16社)	92% (12社/13社)	・空調衛生設備が脱炭素社会づくりに果たす役割の広報に取り組んでいる。(札幌空衛)。	・空調衛生設備が脱炭素社会づくりに果たす役割の広報に取り組む予定。(札幌空衛)
15	(一社)建設コンサルタント協会	○	100% (30社/30社)	100% (30社/30社)		
16	札幌市設計同友会	×	93% (43社/46社)	95% (41社/43社)		
17	札幌市測友会	○	72% (23社/32社)	78% (18社/23社)		・情報発信ページについてはFacebookにて作成しているが、ホームページの作成については次年度以降、取組に向け考えていく。(団体)
18	(一社)北海道建築士事務所協会札幌支部	○	77% (23社/30社)	83% (19社/23社)		
19	(一社)北海道設備設計事務所協会	○	61% (11社/18社)	73% (8社/11社)		・会員のHP開設を推進(団体) ・今後のIT化にむけてデジタル委員会の創設(団体)

※HP等開設率、採用情報掲載率はR2.7月アンケート集計結果から引用。

現状

<p>団体のHP等開設率は68% (13団体/19団体) となっている。                  企業全体のHP開設率は70% (368社/533社) であり、その内採用情報を掲載している割合は84% (310社/368社) となっている。                  58% (310社/533社) の企業がHPで採用情報を掲載しているが、42%の企業は掲載していません。掲載率が低い。                  企業全体については、HP等で賃金や休日等の就業環境や具体的な仕事内容の紹介等、内容充実が必要な状況である。</p>
---

次年度の取組の方向性

<p>団体及び企業においてはHP開設率の向上や、建設産業のイメージアップに繋がる内容、採用後の賃金・休日等の就業環境及び仕事内容の紹介等、人材確保に向けたHPの内容充実を進める。                  札幌市においては、HP開設に向けたセミナーの開催等の支援を進める。</p>
--

No.	活性化プラン第5章に記載の施策・取組・方向性など	各業界団体への照会内容
2	1-2-2 女性の活動団体との連携強化 (P70) ・建設産業に関わる女性主体で構成される活動団体との連携強化により、企業の枠を超えて女性の技術者等が集まり、交流・研修・PR等に精力的に取り組むことで、建設分野における女性活躍を推進するとともに団体の活動に対する支援策を検討します。	・貴団体において「建設産業に関わる女性主体で構成される活動団体」へ行っている支援等に関する情報提供。 ・貴団体や会員企業において行っている、女性技術者等を対象とした交流・研修・PR等の取組。

## 各団体の取組状況（女性の活動団体との連携強化）

No.	団体名	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・札幌市主催の「土木施設めぐり女子ツアー」に協力。	・札幌市主催の「土木施設めぐり女子ツアー」に協力予定。
3	(一社)札幌中小建設業協会	・女性技術者が「どさん娘の会」に所属を継続。(会員企業)	・継続
10	(一社)北海道造園緑化建設業協会	・4/23 春花壇の造成 ・6/25 春花壇撤去後、自分達がデザインした夏花壇の造成	・緑麗会（女性の活動団体）で、自分たちがデザインした大通花壇の造成。 春花壇4/20頃、五輪花壇造成6月後半、夏花壇造成8月後半
14	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・(一社)建築設備技術者協会 北海道支部設備女子会がある。 ・会員に対する設備女子会入会促進に取り組んでいる。(札空衛)	・設備女子会入会促進に取り組む予定(札空衛)。
19	(一社)北海道設備設計事務所協会	・当協会会員の女子社員を設備女子会に入会させたいと思う。	・建設どさん娘の会や緑麗会との交流 ・建築設備技術者協会設備女子会総会後の講演会及び交流会への参加 ・建築設備技術者協会主催現場見学会への参加

## 【土木施設めぐり女子ツアー】

札幌市内の土木系学科に所属する女子学生を対象に現場見学や建設産業の女性就業者との交流を通じて、建設産業の魅力を伝えるとともに、現場で働くイメージをつかんでもらうことを目的として札幌市が開催するツアー

## 【建設どさん娘の会】

建設業で働く女性の課題解決と土木の女性技術者・技術者の活躍に資することを目的としている。建設会社やコンサルタント、学校関係に従事する女性技術者等で構成。活動内容は、建設業全般をテーマとした勉強会や現場見学会、座談会等を開催している。

## 【緑麗会（北海道造園緑化建設業協会）】

(一社)北海道造園緑化建設業協会の委員会構成として、札幌市大通花壇造成事業に参加する等の活動を行っている。

## 【設備女子会（建築設備技術者協会）】

女性設備技術者の情報交換・発信の場を設けることにより、活躍の場を広げ、一層社会に貢献していくことを目的に、交流会や現場見学会を行っている。

## 【設備工事部会建設関連女子会（札幌商工会議所）】

札幌市内の建設関連企業に勤める女性社員を対象に交流会や現場見学会を行っている。

## 次年度の取組の方向性

団体においては、女性主体の活動団体が行う現場見学会、講演会及び交流会等について支援を継続する。  
札幌市においては女性主体の活動団体の意見・ニーズを聞きながら、支援策等を検討する。

No.	活性化プラン第5章に記載の施策・取組・方向性など	各業界団体への照会内容
3	<p>2-1-1 週休2日工事の実施拡大 (P72) (受注者の取組)</p> <p>① 働き方改革の実現のため、週休2日の導入等に積極的に取り組みます。 ② 週休2日の導入と併せて、関連する次の取組についても最大限考慮します。 ・下請契約の締結等は、国の通知に基づき適正に実施します。【施策5-4-1】 ・下請企業においても、月給制の導入を考慮するなど、労働者の週休2日の希望に応えることのできる労働環境の確保を目指します。</p> <p>2-5-1 各企業での週休2日の確保、または年間トータルでの休暇取得の推進 (P78) ・工事や業務の受注者においても、工事や業務の規模、難易度や地域の実情、不稼働日等を踏まえた適正な工期を確保するとともに、下請業者も含めて工程管理の徹底を図ります。 ・現場では週休2日の確保を目指すこととし、土日閉所が可能な現場では、その促進を図ります。 ・現場条件やその他の理由により週休2日の確保が難しい場合も含めて、現場で働く全ての人が年間トータルでの適正な休暇を取得できるよう努めます。 ・建設業界全体の意識の醸成のために、国や道・市の発注工事で一体的に行う統一土曜閉所等に、積極的に取り組みます。</p>	<p>・貴団体や会員企業において行っている、時間外労働の上限規制（建設関連業は適用済。建設企業は2024年4月より適用。）に対する取組。 ・貴団体や会員企業において行っている、週休2日の確保や適正な休暇の取得など労働時間縮減に向けた取組。</p>

各団体の取組状況（週休2日の推進）

No.	団体名		令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	団体	・8月末時点で週休2日の導入状況を調査。現在、集計中。 ・働き方改革に向けた会員企業を対象としたセミナー等の開催。 ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題の解決策などの協議	・8月末時点で週休2日の導入状況を調査予定。 ・働き方改革に向けた会員企業を対象としたセミナー等の開催。 ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題の解決策などの協議 ・建設関連の他団体（設計会社、専門工事業など）との意見交換
		会員企業	・上記の導入状況の調査によれば、少しずつ進んでいる。 ・当協会が属する全国組織で「休日+1」運動を展開している。	・当協会が属する全国組織で「休日+1」運動を展開継続。
2	札幌市土木事業協会	団体		
		会員企業	・2024年の時間外上限規制適用除外を意識し、新入社員から土曜出勤を無くしている。	・本年度は年間360時間以内の残業になるよう職員・協力業者に指導していく予定。
3	(一社)札幌中小建設業協会	団体		
		会員企業	・時間外労働の上限規制に努めるため、月30時間の見込み残業制度に取組んでいる。 ・都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努力している。 ・繁忙期での週休2日の確保が難しいため、年間トータルで運用している。 ・通年雇用月給制に移行し、週休2日に対応できる労働環境を確保。	・継続
4	(一社)北海道舗装事業協会	団体	・令和2年度からは一歩進めて、第4週も加えた月2回の土日連続休日、「4週6休の努力目標」を設定して取り組みを進める。	・月2回の土日連続休日による「4週6休の努力目標を継続」
		会員企業		
5	札幌会	団体	・時間外労働時間の上限規制や働き方改革に関し研修会を実施しているが、コロナ禍の為中止。	・時間外労働時間の上限規制や働き方改革に関し研修会を実施する予定。
		会員企業		
7	札幌建具工業協同組合	団体		
		会員企業		・労働基準法の下、サブプロ協定の締結を改めて促進し、作業効率の見直しやリモートの活用を進め労働時間の短縮を前向きに検討する。
8	(一社)札幌電設業協会	団体		
		会員企業	・継続的にノー残業デーの取得を実施。	・次年度は4名の新卒採用を内定しているほか、装備資材の整備拡充により体制の確立を図ることで、作業の効率化に取り組む。
14	(一社)札幌空調衛生工事業協会	団体	・H28、29年度市発注工事に関して、「収益性低下要因」「時間外労働増加要因」についてのアンケート調査を行い、市機械設備課と意見交換を実施、現場が直面している課題解決に取り組んでいる。 ・上部団体（（一社）日本空衛協会）が策定した「働き方改革に関する行動計画」及び啓蒙パンフレット「週休2日を実現し長時間労働を是正（2018年）」を会員に配布し、情報提供に取り組んでいる。（札幌空衛）	・時間外労働増加要因等に関するアンケート調査に取り組む予定。（札幌空衛） ・上部団体（（一社）日本空衛協会）が策定した啓蒙パンフレット「週休2日を実現し長時間労働を是正（2019年）」を会員に配布し、情報提供に取り組む予定。（札幌空衛）
		会員企業		
15	(一社)建設コンサルタンツ協会	団体	・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施。	・今年度の取り組みを継続。
		会員企業		
16	札幌市設計同友会	団体	・札幌市へ要望書を提出。	・札幌市へ要望書を提出予定。
		会員企業		
19	(一社)北海道設備設計事務所協会	団体		・週休2日制の継続 ・時間外労働制限の継続
		会員企業		・週休2日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・有給休暇取得の推進 ・作業の効率化、簡素化を発注者に求めていく

現状

工事工程の制約等で完全な週休2日に至っていないが、4週6休等、段階的な導入を進めている企業がある。  
また、週休2日が困難な場合は年間変形労働時間制等を採用している企業がある。  
一部の企業では日給制から月給制へ切り替える等、週休2日へ対応できる環境整備が進められている。  
一部の企業では時間外労働削減の取組として、ノー残業デーの設定等を進めている。

主な課題（第1回照会時に調査）

時間外労働の制限や週休2日の確保には人材を増やして対応することが最良と考えているが、その人材確保が難しい状況である。  
週休2日制については、建築主体工事及び元請けゼネコンに主導権があるので、完全実施は出来ていない。  
業界全体が人材不足であり、改修工事などでは夜間や休日（土日とは限らない）勤務が主の場合ローテーションなどは組み込めないため時間外勤務が長くなる傾向がみられる。

次年度の取組の方向性

建設産業の魅力向上のため、団体及び企業においては完全な週休2日を目指し、業務の遂行に配慮しつつ段階的な導入や課題解決に取り組んでいく。  
取組内容：4週6休の導入、年間変形労働時間制の採用、日給制から月給制への切り替え、ノー残業デーの設定、リモートの活用、課題解決に向けた意見交換等。  
団体においては会員企業向けの研修会を実施する等、働き方改革に対する意識の高揚を図っていく。  
札幌市においては試行工事の発注を拡大することを目指していく。

No.	活性化プラン第5章に記載の施策・取組・方向性など	各業界団体への照会内容
4	3-1-1 働き方改革や就業環境の整備、人材育成の推進 (P79) ・各企業が就職先として選ばれ、就業者の定着や能力発揮につなげるため、働き方改革や就業環境の整備、人材育成等の取組の推進を図ります。	・貴団体や会員企業が行っている、働き方改革や就業環境の整備、人材育成の取組と今後予定している取組。
	3-1-2 学生等の入職促進等に向けたインターンシップ等の取組の推進 (P80) ・学生等の入職促進及び離職防止効果があるインターンシップの実施や、入職希望者に対する見学受入などの取組を推進します。 ・インターンシップについては、札幌市の助成制度の活用を図るほか、個々の企業での実施が難しい場合については、札幌市や札幌商工会議所が主催するインターンシップ事業や、さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会 の職場体験実習等の各種事業の活用についても考慮します。	・貴団体や会員企業が行っている、学生（中学生、高校生、大学生）等の入職促進の取組（インターンシップや見学受入れ、職業体験、出前講座など）と、今後予定している取組。 ・貴団体や会員企業が行っている、離職防止に関する取組（研修の実施、相談窓口の設置、就業環境の整備など）と、今後予定している取組。

各団体の取組状況（就業環境の整備）

No.	団体名	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題のひとつとして労務費などの協議（団体）	・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題のひとつとして労務費などの協議（団体）
2	札幌市土木事業協会	・若者が安心して勤務・生活出来るために、社員寮や家賃補助制度を充実させた。（会員企業）	・社員寮や家賃補助制度の運用を開始する。（規程を新たに作成）（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	・社員間で仕事の労をねぎらう「サンクスカード」のやり取り。（会員企業） ・社内に休憩室を設け、マッサージチェアを置き、安らぎの場とする。（会員企業） ・日本ハムの年間シートを2席確保。（会員企業）	・継続
8	(一社)札幌電設業協会	・次年度に向けて就業規則の変更を検討し労働時間を8時間から7.5時間に変更しようと考えている。（会員企業）	「改正高年齢者雇用安定法」（令和3年4月1日施行）に伴い、個々の労働者の多様なニーズを踏まえ、定年年齢を65歳に、再雇用を70歳までとした段階的経過措置による就業規則を改正した。（会員企業）
15	(一社)建設コンサルタンツ協会	・行政機関への要望活動（担い手確保・育成のための環境整備要望）（団体） ・協会本部に「働き方改革推進特別本部」設置（団体） ・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施（団体） ・働き方改革セミナーを開催（団体） ・ウィークリースタンスを含めた様々な施策の実態調査（団体） ・えるぼし認定、くるみん認定やダイバーシティ推進等の取組み（講習会など）（団体）	・今年度の取り組みを継続。（団体）
16	札幌市設計同友会	・ノー残業デーの実施（会員企業） ・有給休暇の取得促進（会員企業）	・ノー残業デーの実施（会員企業） ・有給休暇の取得促進（会員企業） ・働き方改革についての研修会の開催を予定（団体） ・札幌市へ要望書の提出

「えるぼし認定」

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（以下、「女性活躍推進法」）に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度です。

「くるみん認定」

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができる。

「ダイバーシティ」

ダイバーシティとは「多様性」を意味し、ビジネスの分野では国籍・性別・年齢などの区別なく多様な人材を積極的に登用する戦略のことを指します。企業がダイバーシティを推進することで、優秀な人材の確保やイノベーションの創出につながり、世界での競争力の獲得や業績向上、生産性向上などといったメリットが期待できる。

現状

一部の企業では福利厚生の充実、ワーク・ライフバランスの確保等、就業環境の整備を進めている。

次年度の取組の方向性

企業においては就業環境の整備として、福利厚生の充実やワークライフバランスの確保を推進していく。  
※快適トイレ試行工事の対象外の工事については、就業環境整備に係る「女性用トイレ」の札幌市助成制度があるので、企業においては積極的に利用されたい。

## 各団体の取組状況（人材育成の取組）

No.	団体名	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・会員企業の新入社員合同研修会の開催。⇒延期の上、開催。 ・若手技術者育成研修の開催。⇒開催。	・会員企業の新入社員合同研修会の開催。 ・若手技術者を対象とした研修の開催。
2	札幌市土木事業協会	・資格取得が早期に出来るように指導・支援を行っている。（会員企業）	・資格に関しては【技師補】に対しても4月から手当を支給する。（会員企業） ・資格取得・スキルアップの講習会等には進んで参加させる。（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会		・令和3年度事業として「現場技術者研修会」を無観客で実施し、講師陣の講義の模様をファイル化して配信するリモート研修会を計画。（協会）
4	(一社)北海道舗装事業協会	・当協会では、会員企業と、3年以内に入社した社員に対して、人材の確保や育成に関するアンケート調査を実施し、人材確保のための取り組みの現状、新入社員のこの業界に対する意識などのアンケート結果を会員企業に、会報で情報共有した。	
7	札幌建具工業協同組合		・若手技能者人材育成支援等事業（ものづくりマイスター制度）への登録人員の拡大を進め、学校や各種イベントなどで「ものづくり体験」の場をできる限り数多く設け技能の継承や後継者の育成を行う。（団体）
8	(一社)札幌電設業協会	・人事評価制度の整備（会員企業）	
10	(一社)北海道造園緑化建設業協会	・若手新人研修会（2泊3日）を平成29年度から毎年4月に実施予定だったが、今年度はコロナ禍のため中止。（団体）	・若手新人研修会を4/7～9日の3日間（日帰り）で実施 新入社員を含む若手技術者20名程度
11	札幌塗装工業協同組合	・会員企業は新卒入職者（高校）並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院（職業訓練校）に入校させ学ばせている。	・左に同じ
14	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・北海道配管設備訓練校の運営協力と助成金支給により、新規入職の配管工養成に取り組んでいる。（札幌衛）	・北海道配管設備訓練校の運営協力と助成金支給（27万円）により、配管工養成に取り組む予定。 ・技術系新入社員研修会を開催に取組む予定。（札幌衛） ・技術系ステップアップ研修会を開催に取組む予定（札幌衛） ・施工管理技士の受験講習会を開催、若手の資格取得促進に取組む予定。（札幌衛）
16	札幌市設計同友会		・担い手の確保・育成に関する研修会の開催を予定（団体）
19	(一社)北海道設備設計事務所協会		・空調衛生工事業協会で実施している、新入社員研修、技術系新入社員研修、ステップアップ研修への参加 ・建築設備士受験講習会の開催 ・北海道職業能力開発大学校への講師派遣 ・技術情報発表会及びパネル ・商品展示会の開催

## 現状

一部の団体及び企業では人材育成の取組として、若手職員への資格取得や新入社員の養成を目的とした講習会・研修会を開催している。また、一部の団体では新規入職者を対象に職業訓練校を利用した研修を実施している。一部の団体では若手社員を対象とした人材確保や育成に係るアンケート調査を実施し、アンケート結果を会員企業に情報提供している。

## 次年度の取組の方向性

団体及び企業においては人材育成の取組として、新規入職者を対象とした講習会、研修会を実施していく。

## 各団体の取組状況（インターンシップ等）

No.	団体名	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道札幌工業高校の土木科、建築科を対象とした現場見学会の開催。⇒開催</li> <li>北海学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会の札幌市との共催。⇒開催</li> <li>北海道札幌工業高校、市立高校のインターンシップに関する会員企業との仲介。⇒北海道札幌工業高校とのインターンシップは実施予定、市立高校はコロナで中止</li> <li>建青会の「夏休み親子現場見学会」の共催⇒中止</li> <li>「建設産業ふれあい展」にブースを設置⇒中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道札幌工業高校の土木科、建築科を対象とした現場見学会の開催。</li> <li>北海学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会の札幌市との共催。</li> <li>北海道札幌工業高校、市立高校のインターンシップに関する会員企業との仲介。</li> <li>建青会の「夏休み親子現場見学会」の共催。</li> <li>「建設産業ふれあい展」にブースを設置</li> </ul>
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの受入枠を増進。（会員企業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌建設業協会を通し、インターンシップの受入れはお願いしており、今後も継続していく。（会員企業）</li> </ul>
3	(一社)札幌中小建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>入職促進の取組（インターンシップや見学受入れ）に取組んでいる。（会員企業）</li> <li>学生が無料で閲覧できるマイナビと契約し、自社のホームページにリンクさせ、会社の福利厚生状況、就職条件、インターンシップの内容・日時も学生に一目で分かるようにし、併せて道内、東北内の各大学の就職担当教授に社長本人が会社案内等を持ってアピールしている。（会員企業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>
8	(一社)札幌電設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も採用促進等に向けたインターンシップや見学受入れを継続。（会員企業）</li> <li>進路指導の先生と生徒を招き企業説明会を行った。（会員企業）</li> <li>今年度は、新型コロナウイルスの関係で社内技能競技会はウェブ会議システムを活用し、遠隔で開催。当日は工業高校生の見学も受け入れた。（会員企業）</li> <li>コロナ禍の影響もあり、未実施だった市内工業高校への出前授業を今後行う予定。（会員企業）</li> <li>関係団体を通じて、市内工業高校へ保護者向け説明会及び出前授業を実施を予定していたが、コロナにより中止。（会員企業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度も採用促進等に向けたインターンシップや見学受入れを継続する予定である。（会員企業）</li> <li>学生進路指導職員との人脈づくりや生徒への技術指導等への参加を行い、人材確保への積極的な取り組みを行う。（会員企業）</li> </ul>
10	(一社)北海道造園緑化建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年12月に高校（岩農・旭農・当別高の3校）へ出前講座の実施。コロナ禍により中止。（団体）</li> <li>新たに工事現場見学会の実施、北海道当別高校（園芸デザイン科）対象に公園再整備工事2公園の現場見学（8月）参加者：生徒23名（2年生14名・3年生9名）教員2名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月農業高校（造園・園芸）の学生を対象とした公園造成工事の現場見学会の開催</li> <li>12月農業高校（3校）へ「造園建設業の魅力について」出前講座の実施</li> </ul>
11	札幌塗装工業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌商工会議所主催のインターンシップ事業への参画を検討している。（団体）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じ</li> </ul>
12	札幌市管工事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科 2年生のインターンシップ（就業体験）を組合員各社で受け入れ。（団体）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科 2年生のインターンシップ（就業体験）を組合員各社で受け入れ予定。（団体）</li> </ul>
14	(一社)札幌空調衛生工事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道職業能力開発大学校に設備施工管理の指導を行う講師を派遣し、建築設備に関する関心醸成に取組んでいる。（札幌空衛）</li> <li>北海道高等技術専門学院設備システム科学生に対する業界説明を実施（札幌空衛）</li> <li>自衛隊任期付自衛官に対する空衛業界PRを実施（3駐屯地）（札幌空衛）</li> <li>ワク！WORK！学校祭へ参加、設備業界の仕事内容の説明により札幌高等技術専門学院への入校促進に取組んでいる。（札幌空衛）</li> <li>北海道科学大学建築学科学生を対象としたインターンシップ実施し、会員企業への入職促進に取組んでいる。（札幌空衛）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道職業能力開発大学校に設備施工管理の指導を行う講師派遣の取り組みを継続予定（札幌空衛）</li> <li>北海道高等技術専門学院設備システム科学生に対する業界説明に取り組む予定。（札幌空衛）</li> <li>自衛隊任期付自衛官に対する空衛業界Pに取り組む予定。（札幌空衛）</li> <li>ワク！WORK！学校祭へ参加、設備業界の仕事内容の説明により札幌高等技術専門学院への入校促進に取り組む予定。（札幌空衛）</li> <li>北海道科学大学建築学科学生を対象としたインターンシップに取り組む予定。（札幌空衛）</li> </ul>
15	(一社)建設コンサルタント協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道大学の就職担当教授の協力を得て、平成27年度より毎年12月上旬（年1回）、講義の中で、建設コンサルタント業に関する講義を実施している。</li> <li>講義内容は、建コン全般と各分野（道路、構造、河川、防災、情報等）の説明。講師は支部の関連委員や支部会員会社職員が行っている。</li> <li>今年度はコロナ禍のため、WEBによるオンライン形式で講義を12月に開催した。（団体）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の取り組みを継続。（団体）</li> </ul>
16	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの受け入れ（会員企業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの受け入れ（会員企業）</li> </ul>
18	(一社)北海道建築士事務所協会札幌支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>当協会では、会員事務所と連携の上、インターンシップとして学生（北海学園大学建築学科）の受け入れを実施</li> <li>例年実施している手稲高校のインターンシップについては、新型コロナの影響により中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当協会では、インターンシップ受け入れは継続して実施予定</li> </ul>
19	(一社)北海道設備設計事務所協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは工業系の学校訪問を行い、学生に設備とは何か、設備とは建築で言うと骨格で、内臓器官で必ず必要なものであるというアピールをしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備設計とは何かということをPRして行く。そのために工業系高校、北海道立札幌高等技術専門学院、北海道職業能力開発大学校に訪問し、PRして認知度を高めていく</li> <li>積極的にインターンシップを受け入れる</li> </ul>

## 現状

一部の団体及び企業では入職促進の取組として、学生を対象とした現場見学会、インターンシップ及び出前講座を実施している。また、一部の団体では転職者を対象に建設業のPRを行っている。  
 一部の団体及び企業では保護者向けの説明会や出前講座を実施している。  
 一部の団体では普通科の高校生も対象としたイベントにおいて、建設業のPRを行っている。

## 次年度の取組の方向性

団体及び札幌市においては入職促進の取組として、現場見学会、インターンシップ及び出前講座を実施していく。またイベント等を利用して建設業をPRしていく。  
 ※入職促進に係る「インターンシップ」の札幌市助成制度があるので、企業においては積極的に利用されたい。

No.	活性化プラン第5章に記載の施策・取組・方向性など	各業界団体への照会内容
5	3-5-1若者・女性の活動との連携や横のつながりを創出する機会確保等の支援 (P87) ・若者や女性の育成に向け、企業の枠を超えた横のつながりの機会を確保するため、若者・女性の活動等との連携推進を図るとともに、建設産業の市内企業に入職した若手就業者を対象とした合同職員研修の開催等の支援策を検討します。 ・女性の活動団体との連携強化や支援の取組を検討します。【施策1-2-2】	・貴団体が行ってる若手技術者や女性を対象とした研修等の実施状況についての情報提供。 ・また、今後予定している取組。

## 各団体の取組状況（若者・女性の横のつながり創出）

No.	団体名	令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・会員企業の新入社員合同研修会の開催。⇒延期の上、開催。 ・若手技術者育成研修の開催。⇒開催。	・会員企業の新入社員合同研修会の開催。 ・若手技術者の育成研修の複数開催。
2	札幌市土木事業協会	・女性の雇用・資格取得支援の増進（会員企業）	・女性を対象とした研修会等には奮って参加させる。（会員企業）
4	(一社)北海道舗装事業協会	・舗装技術に関する研修会を協会主催で毎年、実施。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、中止。	・舗装技術に関する研修会を実施。（団体）
7	札幌建具工業協同組合	・技能士資格取得者の全体数の底上げの為、技能士の国家試験（特に実技試験）の受験対策として、実際の試験問題の課題と同じ条件での講習会を実施。	・来年度に関しても引き続き活動する予定ではありますが、新型コロナの感染状況では内容が変更し、対策が必要となるので時期と規模に関しては未定。
10	(一社)北海道造園緑化建設業協会	・日本造園建設業協会主催の「地域リーダーズ活動」、全国の造園建設業界を対象にした勉強会、お互いのコミュニケーションを深め現地見学会・事業活動発表会など各地の様々な情報を共有しビジネスチャンスの創出に向けて取組んでいる。（団体）⇒例年、年明けの2月に開催予定 ・当協会（北造協）としても若手技術者を中心に参加し活動展開を図る。（団体） ・若手新人研修会（2泊3日）を平成29年度から毎年4月に実施。（団体）⇒コロナ禍のため中止	・日本造園建設業協会主催の「地域リーダーズ活動」、全国の造園建設業界を対象にした勉強会、お互いのコミュニケーションを深め現地見学会・事業活動発表会など各地の様々な情報を共有しビジネスチャンスの創出に向けて取組んでいる。（団体）⇒例年、年明けの2月に開催予定 ・当協会（北造協）としても若手技術者を中心に参加し活動展開を図る。（団体） ・若手新人研修会を4/7～9日の3日間（日帰り）で実施
14	(一社)札幌空調衛生工事業協会		・他団体事業を参考に、来年度の事業計画で取り組む予定（札幌空衛）
15	(一社)建設コンサルタント協会	・「北海道支部若手の会」の活動を継続。（団体）	・今年度の取り組みを継続。（団体）
19	(一社)北海道設備設計事務所協会	・これまでの活動の継続と今後は札幌空調衛生工事業協会で開催している新入社員研修（職種問わず）、技術系新入社員研修（空調衛生設備）、ステップアップ研修（空調衛生設備）等に積極的に参加させたい。	・建築設備技術者協会設備女子会総会後の講演会及び交流会への参加 ・当協会主催及び他協会主催現場見学会への参加 ・会員情報交換会への参加・技術情報発表会・パネル展示会・実務担当者懇親会への参加

## 現状

複数の団体では若手就業者を対象とした合同での研修会、講習会、交流会、座談会を開催する等、企業の枠を超えた横のつながりの機会を確保している。

## 次年度の取組の方向性

団体においては若手就業者を対象とした研修会や交流会等を開催し、企業の枠を超えた横のつながりの機会を確保していく。

No.	活性化プラン第5章に記載の施策・取組・方向性など	各業界団体への照会内容
6	<p>5-4-1 下請契約の適正化及び技能労働者の処遇改善に向けた取組の実施 (P93)</p> <p>(1) 下請契約や下請代金支払の適正化の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の受注者は、品確法や国交省の通知等に基づき、下請契約の締結および適切な代金の支払いなど元請負人と下請負人の間の取引の適正化等に努めます。</li> </ul> <p>(2) 技能労働者の処遇改善の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の受注者は、品確法や国交省の通知等に基づき、技能労働者の適切な賃金水準の確保を促し、技能労働者の処遇改善を図ることに努めます。</li> <li>・技能労働者の処遇改善とキャリアの見える化を推進するため、建設キャリアアップシステムを活用し、処遇改善や適正な労働時間の管理に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「下請契約や下請代金支払いの適正化の取組」及び「技能労働者の処遇改善の取組」について、貴団体や会員企業において行っている取組、今後実施を予定している取組についてお答えください。(例：会員企業への通知文の周知、会議、講習会の開催、建設業フォローアップ相談ダイヤルの周知)</li> <li>・貴団体や会員企業における、建設キャリアアップシステムの現時点での活用状況、今後予定している活用に向けた取組。</li> </ul>

## 各団体の取組状況（下請契約適正化と技能労働者処遇改善）

No.	団体名		令和2年度の取組状況（実績）	令和3年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員企業への通知。</li> <li>・国、北海道、札幌市との意見交換会において、労務単価など諸課題の解決に向けた協議。</li> <li>・国との意見交換会において、建設キャリアアップシステムの登録や普及促進に向けた協議。</li> <li>・公共工事労務費調査の説明会への参画⇒開催、相談会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員企業への通知。</li> <li>・国、北海道、札幌市との意見交換会において、労務単価など諸課題の解決に向けた協議。</li> <li>・国との意見交換会において、建設キャリアアップシステムの登録や普及促進に向けた協議。</li> <li>・公共工事労務費調査の説明会への参画、相談会の開催</li> <li>・キャリアアップシステムの説明会？</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		
2	札幌市土木事業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各協力業者には建設キャリアアップシステムの普及・推進。(会員企業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社は建設キャリアアップシステムを導入しているが、協力業者への普及が浸透していないので、推進していく。(会員企業)</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		
4	(一社)北海道舗装事業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会では、建設キャリアアップシステムにおいて舗装工に対しても適切に評価されるように、能力評価基準の早期の策定を、関係機関に申し入れ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、舗装工に関する能力評価基準の策定を関係機関に要望。</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		
6	札幌市除雪事業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知文の周知。</li> <li>・代表者会議、センター長会議を開催し、周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続予定</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		
8	(一社)札幌電設業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、職業能力評価基準を定めその運用を図って行きたい。</li> </ul>	
		技能労働者の処遇改善		
13	札幌管和会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理・技術職員への資格取得協力(時間、助成金)</li> <li>・外国人実習生採用者への資格取得協力(能力技能試験・自動車運転免許試験)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能労働者の処遇改善に繋げる施策として、平準化の保てる労働環境の工夫</li> <li>・現時点での同工種や異業種への技術獲得・平準化に向けての自社努力、仕事の無い期間(谷間)を無くすクリアランス事業への発想</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		
14	(一社)札幌空調衛生工事業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知等を迅速に会員企業にメール配信。(札空衛)</li> <li>・建設キャリアアップシステムに関して会員企業のID取得状況の把握に取り組んでいる。(札空衛)</li> <li>・当会に関連する技能者団体会員について「働き方改革、技能者の生産性低下要因」等に関するアンケート調査実施、両団体が抱える課題把握と課題解決に向けた意見交換会の開催検討に取り組む予定。(札空衛)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知等を迅速に会員企業にメール配信する予定。(札空衛)</li> <li>・建設キャリアアップシステムに関して会員企業のID取得状況の把握に取り組む予定。(札空衛)</li> <li>・当会に関連する技能者団体会員について「働き方改革、技能者の生産性低下要因」等に関するアンケート調査実施、両団体が抱える課題把握と課題解決に向けた意見交換会の開催検討に取り組む予定。(札空衛)</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		
15	(一社)建設コンサルタンツ協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部会員のコンプライアンス遵守を目的として、倫理および法令遵守に関わるテーマを取り上げ、毎年1回研修会を開催。今年度はコロナ禍のため、WEBによるオンライン形式で開催した。(団体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取り組みを継続。(団体)</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		
19	(一社)北海道設備設計事務所協会	下請契約等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下請契約や下請代金は適正に対処しているが、設備改修設計に含まれる建築設計の金額が合わない場合があり、改善を発注者に要望したい</li> </ul>
		技能労働者の処遇改善		

## 現状

- ・「下請契約や下請代金支払いの適正化の取組」について、複数の団体が国からの通知を会員企業へ周知している。
- ・建設キャリアアップシステムについて、一部の企業・技能者が登録しているが、加入率は低い。

## 次年度の取組の方向性

団体においては「下請契約や下請代金支払いの適正化の取組」について、国からの通知を会員企業への周知することを継続していく。  
企業においては建設キャリアアップシステムについて、導入の検討を進めていく。

2021.01.00 A4片面

札幌市主催 SAPPORO

運営:北海道新聞社

正社員 派遣 パート

ワークフェスさっぽろ

合同企業

完全  
予約制

参加無料

説明会

参加企業  
各日25社  
合計100社

当日は面接会も同時開催!

ご来場特典

もれなく

QUOカード

プレゼントスタンプラリー

ご来場の上、3社以上から  
説明を受け、アンケートにご協力  
いただいた方全員にプレゼント!

500円分

離職者や就活困難な方を  
サポートします!

令和3年

2/22月・25木 10:00  
16:004日間/  
開催!!

来場プレゼント

北海道の  
業界地図を、  
各日20冊  
希望者に  
抽選にて  
プレゼント!

会場 札幌グランドホテル

別館2階 グランドホール  
(札幌市中央区北1条西4丁目)JR札幌駅から徒歩10分、  
地下鉄南北線大通駅5番出口から徒歩5分

完全予約制につき、下記日程よりお選びください

番号	日程	時間	定員
1-①	22日	10:00~12:30	各回 80名
1-②		13:30~16:00	
1-③	23日	10:00~12:30	
1-④		13:30~16:00	
1-⑤	24日	10:00~12:30	
1-⑥		13:30~16:00	
1-⑦	25日	10:00~12:30	
1-⑧		13:30~16:00	

特別企画 各日12:00~12:30

面接対策講座

各回限定  
10名様受け答え方法やマナーなど、面接で  
必要な知識をレクチャーいたします。

同時開催 テレワークコーナー

テレワークに関心のある企業・求職者向けにブースを設けた  
テレワーク普及イベントを同時開催しています。(2/22を除く)

くわしくはHPをご覧ください

<https://www.pasona.co.jp/blog/area/sapporo/tw202102.html>※駐車場は混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願い致します。  
※マスク着用の上、ご来場ください。※駐車場は有料となります。

お申込みはコチラ

WEB予約  
フォーム

お問い合わせ

ワークフェスさっぽろ合同企業説明会運営事務局(北海道新聞社営業局内)

お電話:011-210-5906(営業局 担当/大佐和・山下)

電話受付/9時30分~17時30分 ※土・日曜、祝日は休み。

2/21(日) お申込締切

※予約状況によっては、当日参加も  
可能ですので、お問い合わせ下さい。

〈特設サイト〉

<https://workfessapporo.jp/>

ワークフェスさっぽろ 合同企業説明会 検索

【新型コロナウイルス感染予防について】

- 新北海道スタイルに準じた新型コロナウイルス対策を講じて運営・実施いたします。
- 当説明会は完全予約制となっております。予約のないお客様のご入場はお断りいたします。
- 会場内が混雑した場合は、入場制限または入場をお断りする場合がございます。
- 入場時に手指の消毒及び検温を実施いたします。
- 会場内ではマスクの着用にご協力ください。着用されていないお客様は入場をお断りいたします。
- 感染者が発生した場合、予約リストをもとにお客様に直接ご連絡させていただく場合がございます。予めご了承ください。
- 感染者の発生等の諸事情で当説明会を中止させていただく場合がございます。

※新型コロナウイルス感染拡大や自然災害等により止むを得ずイベントを中断または中止する場合がございます。予めご了承ください。

さっぽろ5年  
02-403-20-2050  
R2-2-1270

主催:札幌市 受託事業者:北海道新聞社

出展企業一覧

掲載企業は、予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

2月22日(月)

Table listing companies for Feb 22nd (Monday). Includes companies like アクテス, エスイーギルド, テックサプライ, アミノアップ, 伊藤塗工部, HOP, etc.

2月23日(火)

Table listing companies for Feb 23rd (Tuesday). Includes companies like エコノス, 健康会, タイガール, トヨタコーラ, トラバス, etc.

2月24日(水)

Table listing companies for Feb 24th (Wednesday). Includes companies like アミクス, ALSOK, 恵和ビジネス, サイ引越センター, etc.

2月25日(木)

Table listing companies for Feb 25th (Thursday). Includes companies like 栄和会, EZOTEC, オートランド札幌, etc.

## さっぽろMEETS(出会い)プロジェクト

札幌市が地元企業と学生の出会いの機会を創造します

# インターンシップ生 第2期 受入企業募集中

本事業は、さっぽろ圏<sup>(※1)</sup>の大学や短期大学、専門学校に通う学生がインターンシップを経験することで、地元企業の魅力に気づき、地元での就職を促進する事を目的としています。地元企業の皆様には、自社の魅力を発信するインターンシップ<sup>(※2)</sup>の実施プログラムや情報をセミナーと個別支援にてサポートいたします。学生との出会いの機会をご利用頂き、若者の地元定着を目指しましょう。

(※1)札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町の計12市町村。

(※2)本事業で実施する「インターンシップ」は、グループ化した企業にて実施する複数回の職業体験です。就職活動や採用選考の一環として行うものではありません。

### さっぽろMEETS プロジェクトとは?

新卒を採用したいさっぽろ圏の中小企業と、さっぽろ圏での就職を希望する学生が出会うための事業です。

新卒採用に意欲的で  
インターンシップに関心がある  
さっぽろ圏の地元企業

# 企業 × 学生

MEETS

これから就職活動を始める  
さっぽろ圏の  
大学・専門学校等の学生  
※高校生は対象外です

1日3時間からの  
受入でOK!

学生に企業を  
知ってもらうチャンス!

サポートがあるので  
初めてでも安心

#### 対象企業

- さっぽろ圏に本社又は営業所があり、将来にわたって道内で従事する求人のある又は求人を予定している企業
- これまでにインターンシップに取り組んでいない企業や、実施したが課題(参加学生が少ない等)のある企業

#### 受入企業の メリット

- 自社の魅力を学生に直接伝えることができる
- 大学・短大・大学院・専門学校など多様な学生と出会い直接意見を聞くことができる
- 学生の応募状況によっては違う学生を複数回受け入れることも可能 **※1コースあたり5名程度**
- プログラム作成の段階からコーディネーターがサポート、初めての取組でも安心

#### インターンシップ 全体の流れ

- 1日目 学生事前セミナー**  
実習時の留意点  
簡単なビジネスマナー等の講習  
※学生のみ
- 2日目 A社での実習**  
学生は1コースで  
3社訪問
- 3日目 B社での実習**  
企業様は1日のみ  
受入
- 4日目 C社での実習**
- 5日目 情報交流会**  
参加コースの振り返り  
他コース企業情報の共有等  
学生と企業様の意見交換

STEP

### 1 セミナー参加

学生の受入にはセミナーの参加が必須です

STEP

### 2 お申し込み

異業種3社を組み合わせてグループ化します

STEP

### 3 プログラム作成

コーディネーターがプログラム作成支援を行います

### 学生受入!

学生の春休み期間を  
予定しております。  
1日あたり3~6時間の  
プログラムを実施します

新卒・若年者採用を強化!

## インターンシップ導入セミナー

インターンシップの受入が初めて、またはうまくいっていない企業に向け、学生に企業の魅力をアピールする方法や受入プログラムの作成について、解説するセミナーを開催します。

日程

第2期

第1回 令和3年 1/19(火)

第2回 令和3年 2/3(水)

時間

13:30 ~ 15:30  
(13:00受付開始)

会場

ACU-A(アキュ) 1606研修室  
札幌市中央区北4条西5丁目1  
アスティ45ビル16階

お問い合わせ

株式会社 東京リーガルマインド札幌支社 TEL 0120-974-739 FAX 011-218-1525

E-mail hokkaido-skillup@lec-jp.com 〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1 アスティ45ビル

本事業は札幌市から委託を受け、株式会社東京リーガルマインド札幌支社が運営しています。



さっぽろ市  
02-H03-20-1574  
R2-2-1049

## インターンシップ導入で新卒・若年者雇用を強化! インターンシップ導入セミナー

日程 第2期 第1回 令和3年 1/19(火) / 第2回 令和3年 2/3(水)

時間 13:30～15:30(13:00受付開始) 定員 各回35社 会場 ACU-A(アキュ) 1606研修室  
札幌市中央区北4条西5丁目1 アスティ45ビル16階

## お申し込み方法

- セミナー参加をご希望される方は、下記申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送・FAX、またはメールでお申し込みください。ホームページのお申し込みフォームからお申し込みいただけます。
- お電話でのお申し込みは受付ておりません。

## お問い合わせ

株式会社 東京リーガルマインド札幌支社 TEL 0120-974-739

FAX 011-218-1525 E-mail hokkaido-skillup@lec-jp.com

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1 アスティ45ビル

<https://public.lec-jp.com/internship-sapporo/>

本事業は札幌市から委託を受け、株式会社東京リーガルマインド札幌支社が運営しています。



## セミナー参加申込書 FAX 011-218-1525

会社名	ふりがな	電話番号	
		FAX番号	
申込担当者	ふりがな	役職	
		従業員数	名
業種			
所在地	〒		
Eメール			
企業向け セミナー 希望日	日程 第2期 第1回 令和3年 1/19(火) / 第2回 令和3年 2/3(水)		
	第一希望	月 日	時間 13:30～15:30(13:00受付開始)
	第二希望	月 日	会場 ACU-A(アキュ) 1606研修室 札幌市中央区北4条西5丁目1 アスティ45ビル16階
参加人数	名 (申込担当者を含む)		※申込者多数の場合、人数の調整をさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

インターンシップについて、御社にあてはまるものに☑チェック、または記入してください。

①過去3年間の間に、インターンシップを実施したことがありますか

 新卒学生向けを実施  既卒者向けを実施  実施していない  これまで実施したことがない

②令和元年度の新卒採用の実績について

新卒を採用した(  大学 名 /  大学院 名 /  専門学校 名 /  その他 名 ) 新卒は採用していない

③その他、新卒採用、インターンシップについて気になる点、知りたいことがあれば記入してください

※お預かりした個人情報、この事業の円滑な遂行のためのみに使用します。  
 ※お申込み受付後、㈱東京リーガルマインドより、確認のご連絡をさしあげます。

ホームページからのお申し込みはこちら→



# 歩いて、WAONポイントを貯めよう！

札幌市働く世代への健康増進アプローチ研究事業に参加して、健康づくりを始めませんか？



- 札幌市では、働く世代のみなさまの健康づくりに効果的なアプローチ手法を検証するため、研究事業を開始することとなりました。
- この研究事業では、専用アプリ「さっぽろカラダスマイル」を使って、毎日の歩数の測定や食事記録などを実践することにより、ポイントを貯めることができます。
- 貯めたポイント数により、ランク付けされ、ランクに応じてリワードコインを獲得できます。獲得したリワードコインは **WAONポイント** に交換してご利用いただけます。

## 2年間で最大10,000ポイント※獲得チャンス！

※獲得ポイント数は、実証期間中に変更となる場合があります。

**参加無料**

### ご利用手順

1 ご利用方法を確認

アプリ公式ホームページ



- 説明動画
  - 利用マニュアル
  - よくある質問
- 等が確認できます

<https://sapporo.karada.live/>

2 アプリをスマホにダウンロード

Android



iOS



アプリストアで「さっぽろカラダスマイル」と検索してもOK！

3 ご利用開始！

ご質問・お問い合わせについては、下記ページをご確認ください



<https://sapporo.karada.live/faq/>

### ご注意事項

- 「さっぽろカラダスマイル」は、札幌市が働く世代への健康増進を目的に実施する実証事業の一環として実施するものです。アプリの利用規約内に実証実験への参加同意が含まれておりますので、ご確認のうえご利用ください。
- 本アプリの健康増進効果を検証するため、実証参加に同意いただいた方の健診データを所属する企業・団体経由でご提供いたします。健診データは個人が特定できない形に統計的処理を施し、本研究事業の目的に限り使用させていただきます。
- また、本アプリは、特定の企業・団体の従業員で札幌市在住の方のみを対象にご案内を行っております。そのため、外部の方への情報共有はお控えいただけますようお願い致します。

札幌市保健所健康企画課／委託事業者：(株)NTT データ経営研究所

よくあるご質問・ご懸念



取組状況は会社や上司に見られてしまうの？

札幌市検診受診促進  
キャラクター  
「けんしんけん」

個人の取組状況をご所属の企業等へ開示することはありません。ご安心ください。



わざわざ記録をつけるのは大変...

歩数については自動でカウントされるので、手動で記録をつける必要はありません。頑張ってお食事や体重等を手動記録した場合には、その分ポイントが加算されます。



協力事項に「健診データの提供」とあるが、どのように使われるのか不安

健診結果は、個人が特定できない形で統計的に処理したうえで扱い、本研究以外に使用することはありません。ご安心ください。  
※下図：健診データ利用イメージ



■ 健診データ利用イメージ（肥満に該当する人の割合の比較）

